

飯舘村の避難生活実態と復興に関する飯舘村成人アンケート調査結果速報

第二部 回答者の自由記入内容です。第一部は集計結果と提案です。

〔調査実施機関〕

日本大学生物資源科学部建築・地域共生デザイン研究室 教授：糸長浩司、研究員：浦上健司

(協力：NPO 法人エコロジー・アーキスケープ、飯舘村民有志及び新天地を求める会)

VI 自由記入への記載内容

【問 24】原発被害に見舞われてから困っていること、避難生活での問題点、国、村などに対する意見や要望等、あなたが避難生活で感じていることを何でもご記入ください。

1,366 人の回答者のうち、732 人 (53.6%) の村民にから自由記入の回答を得た。切実な悩み、思い、願い、期待を書いて頂いた。子供達の将来の事を考え、今できる最良の対策を期待する声、長期的な避難生活が強られる中で、移住、生活再建、住宅再建に必要な資金、そのための賠償のスムーズな実施への要望、帰村したいが、帰村できない、しないという選択の苦闘、それでも村の復興をどうするかのお思いが書かれている。

放射能汚染という長期的な災害であり、その解決には時間がかかる。以下、全ての回答者、732 人の男女別、年齢順での想いを掲載する。

◆男性

年齢	記載内容
20	除染後すぐ帰村出来るのか
21	3. 1 1 当初は、村内企業で仕事をしていましたが、放射線被曝への恐れから退職。仕事を探しても、所有資格を活かしたものがなかなか見つからず、現在無職である。除染が進み、環境が整えば、飯舘に帰りたとも考えているが、仕事探の範囲も限られ、将来的に収入源を得られるか心配である。国、県、村には企業誘致、就業支援をお願いしたい。
21	テレビ等でウソばかり言うのはやめてほしい。バカにされているとしか思えない。
21	私は長男で将来、親と同居を考えていますが、現在親は村内企業へ勤務している為、通勤を考えると、村外の放射能の低い地域で生活拠点をもちたいと思っています。又、将来子供が出来た場合の事を考えると村内の生活は難しいと思います。
22	戻る、戻るという考えが先行して村民全体の意見や考えが無視されている気がする。除染が完了してから帰村について村民からの意見を「帰る、帰らない」の2択で聞くのではなく、定期的に村民投票のような形で取り、意見を聞くべきだと思う。
22	村内の会社への通勤が遠くなって大変です。
24	タブレットじゃなく、現金でほしかった。精神的にやられ、今通院している。
26	県政のたよりと村のたよりの復興対策記事の内容が違いすぎる
27	国も村も帰村が既定路線という感じに憤りを覚える。避難生活も1年半を超え、現状で就労もし、新しい生活になじんできている。現在の社会状況で数年後に帰村しろと言われても、仕事を辞めてまで帰村する勇気はない。

27	国や行政は双葉郡を重要しすぎ。家等は準備区域でも住めるかどうか分からないほど小動物が入り荒れています。双葉郡と他の避難区域とどちらがいますか？国は双葉郡の家は全部保障して、準備区域は家の再建も出来ない保障では帰村する事も出来ない。準備区域も双葉郡と同じ家を再建出来る保障が必要です。双葉郡は被害者であると同時に国や東電と同じ加害者です。原発のリスクは分かっていたのに金に目がくらみ許してしまった。今さら騒ぐなと言いたい。双葉郡の首長は県民に謝罪すべきだ。
28	体を動かせる土地が無い太った。借りている家なので家の中で動物が飼えない。
28	一軒家だったのが急にアパートになり。子ども達は伸び伸びできず、ストレスばかりためている。イライラしている。子ども達がかわいそうでならない。
28	帰村のための除染、復旧を早い時期に完了させる。何においても遅い、進んでないと思う。個人で出来る事ではない。まず国がしっかりと方向性を示し、各自治体が復旧を最優先事項で進めるべきだ。国会議員は選挙がどうかそんな事はどうでもいい。議員全員が除染しに福島に来い。現場をもっと見る。
28	国、村にわたしたちは被害者なのでこれからの補償をしっかりとしてほしい・
29	避難が長期化しそうなので（子ども達は飯舘へ帰したくない）住宅を購入したい。土地の斡旋や中古住宅の紹介をお願いしたいです。
29	不動産の賠償をしっかりともらいたい。
29	仕事先までの通勤の時間が3倍になって、なかなか疲れがとれない。子供と外で遊ぶ事がかなり減った。
30	ストレスの質が違い過ぎる。以前あった肉体的、精神的、金銭的なストレスは、心地のいいものであったが、逆に思考がマヒしていく感覚にとられる。以前思い描いていた将来設計から頭を切り離せず、地に足をつけようとするが、長期的な目標を持ってないためか、両親、祖父と子供や妻と一緒に幸せにできない、道筋が見えないためか、精神的に不安定。友人達が津波でひどいめにあっており、その方へ少しでも税金をとの思いもあり、就業したが、国は裏切った。無駄使いが無くなるまで徹底的に賠償裁判も必要なのかという思いにもなった。誰もが賠償手続きを簡易に役場でできるようにしなくてはならない。そこに生きるための大切なエネルギーを費やしたくもない。
30	私は相馬市に勤めはじめました。三男であるので飯舘に戻らず、ここで生活するしかないと思います。避難が終わればその後どうするか困ってます。特に住宅についてです。
31	村は無駄なお金の使い方が多すぎる。タブレットにしても、村の広報と内容が同じだし、送られてくる文書の中には県外にいる物に不必要なものが多い。支援に格差がある。支援物質、生活支援6点セットなど現在住んでいる住宅は、来年4月末で住めなくなります。その後の住宅について困っている。
32	親父が自殺し、弁護士を依頼しています。よって費用面で負担があります。飯舘で山水だったのに、福島市だと水道代が2カ所分かかるので東電に別途支払ってほしい。
32	放射線量で地域をわけることにはほんたいです。賠償金はすべての村民が同じにしてほしいです。村には何年間は帰村しないせんげんしてもらいたい。
32	生活して行くゆえに便利ですが、お金はすぐになくなる。金がなければ生活は出来ない。

32	<p>村におかれては、この原発の事故による風評被害等をはじめとする諸被害を、被害として受け止めつつも、これを発想の転換等によりプラスに活かしてもらいたい。例えば、村の主要産業である一次産業は極めて再生には困難が予想される。そのような中、村ではヘルパー2級の資格取得を補助しており、福祉介護分野はこの高齢社会日本で主要の位置を占めるものと思われる中では、意義あるものと考えられる。ただ、それを大いに活かせるかといえば、いささか疑わしい。村にある特養は特例措置で避難対象から除外（このことは私は極めて常識的な判断であったと思う）し、事業を継続しているわけだが、この点に注目したい。そこで、特区制度を使って、福祉特区まよなものと考えたらいいのでないか。福祉に特化し理想の福祉を立ち上げ、そこには村民が関わり、福祉の先端を担うような施策を講じたら、マイナスの飯舘村からプラスへと立ち直れるものと考えている。</p> <p>原発立地・推進の市町に対してであるが、これまで多額の原発交付金を申請受領しており、事故が起きてそれを辞退とはお粗末なことである。また、これまで原発で大いに恩恵を受けながら、事故が起きてから手のひらを返したように、東電に声高に責任を問うことにいささか違和感を覚える。怒りを東電にぶつけるより先に、立地と推進をしてきた市長・町長には、まず福島県民に謝罪するのが筋であろうと強く思うものである。避難先に苦言を呈する投書が届いたということを目にしたことがあり、それに対して届いた先の役場当局は困惑したとのことであったが、困惑ではなく、もっと謙虚になるべきではないかと感じた次第である。また、いつでも賠償金をたかる姿勢には嫌悪を感じる。むしろ、これまで受けた補償金を受領していたのだから、少し違うのではないかと考える。むしろ、これまで受けた補償金等を被害を受けた県内の他の非原発立地市町村に吐き出すくらいのことではないかと思えるものである。</p>
32	<p>村長は、村民ではなく、村そのものだけに目を向けている。今、村で事業継続、再開している所もあるが、民間ばかりです。農協、郵便などは無い。除染もしていない所に企業誘致を進め、形だけの除染と説明。いくら要望を出しても、国、県にもみ消させる始末。本人は福島市内に住宅をつくり、帰村はでまかせ。村民の再建は成されず、村の再建だけが進む。でもそれも矛盾している。被害者が加害者に負けるのはおかしい。</p>
33	<p>国に対してもっと真面目に対応してほしい。</p>
33	<p>避難解除など勝手に決めるな</p>
34	<p>アンケート結果がわからない。いつの間にか数年後に村に帰る事になっているが、村民アンケートが反映されているのか？</p>
34	<p>除染を早くしてほしい</p>
34	<p>除染よりもまずは村民の健康、そして心を大事にして欲しいです。土地は動きません。人は死んでゆくのです。一日でも早く村民一人一人の選択肢を下さい。</p>
34	<p>村はもっと村民の意見を取り入れてほしい。国に対してもっと強気ででてほしい。それだけの被害をうけていると思う。</p>
35	<p>ぼくはけっこんはむりですね。</p>
36	<p>村及び村長は住民の意見をあまり聞き入れず、村民の生活、そして今後の補償に対して重要視せず、村への早期帰還ばかり強調している。除染にしても山林をやらずに宅地ばかりやって、無意味であっていずれ数値は戻ってしまうと思う。事故後2ヶ月も避難指示が遅れた国に対して、他の町村と連携し責任追求し、無駄に被曝した事にた石手の補償も請求していくべきだと思う。</p>
36	<p>飯舘村からの避難民である事から早く脱したい。あらたな土地で一刻も早く再スタートを図りたい。</p>
37	<p>国に対しては子ども達の精神的苦痛の保障だけは一生継続してほしい</p>
37	<p>子ども達の通学距離（バスで一時間）。除染のてっぺい。避難生活はニュースで流れてたり国とかで言っていることよりもおいし、不安だという事。</p>
37	<p>村版の事故調をやってほしい。ほうっておいたら加害者（村長達）は何もしない、何か起こってから（放射能由来の病気等）では遅い。</p>
38	<p>いつ終結するのか気になります。</p>
38	<p>環境の変化やストレスで体調を壊すことも多い。前頁にも書きましたが、医療費免除の期間を延長してもらおうと助かる方も多いと思う、</p>
38	<p>村長、議会に対する不信感。絶望している。</p>

38	役場からの情報が何一つとして入ってこない。
38	わからない
38	除染は無意味だと感じている。国、東電に買い上げてほしい。
38	飯舘村への偏見（会員登録や銀行などで免許証を出した時など）。はげましの言葉はうれしいです。高速道路の無料もかなりありがたいです。
38	現在の借り上げの延長の有無。安定した職探し。
39	生活圏のみの除染ではなく、村民が安心して帰れるように森林、農地、川、沼（水資源）の底土まで徹底して除染をして欲しい。
40	東電だよりで何もせず文句ばかり言ってブラブラしているのを見るとなさげなくなる。自分の生活は自分で何とかしろよ
40	今やっている仕事（村内）がキツイ、危険手当が出ない、経営者、上司はアホ
41	生活がおかしくなっている。
42	戻たくない人への支援というか村の方針が具体的に見えない。村は新しい生活を他の地で送って欲しいという送り出す気持ちが全くない。
42	飯舘村だけ賠償金が3分かつたのはおかしいと思う。5年間なら5年にしてほしい。
42	復興も大事だが村民の健康の方がもっと大事だ。命にかかわる問題ですよ。もっと村民の声を聞いて下さい。聞いてから決断して下さい。決まった事を押しつけるのはやめて下さい。
42	政策、施策には何も期待しないが補償問題だけは、正当に速やかに実施して欲しい。
43	村で災害時から、村の為、営業を続けているが、国、県、村から何の支援も無ければ、要望を聞きにも来ない。日々、線量が上がるだけで、国、県、村に不信感が募る。
43	避難解除後、帰村する、しないという事で家族の意見がバラバラになり、家族がバラバラになる事。
43	朝、夕方の通勤時間
43	国、東電に対して長（村長）は、一番大事な事をしていない。
44	大変ありがとうございます。我々の声をひろいあげて頂くだけでも精神的に少し落ちつきます。自分の周りの避難民もずいぶん精神的にやられてます。村も政策に起因する所が大きいです。現在、村内で行われようとしている除染は、何も決まっていな中での強行政策であり、除染の効果も低く、コスト的にあまり意味がない様に思われる。帰村をうながすための既成事実をつくるためだけの除染に大金をかけてほしくない。他の低線量地域の除染や、被害者の生活再建の賠償金などに金を使うべきであると考えます。村の考えは「自分の村さえ良ければ他地域はどうでもよい」という様に私の目には写ります。もっと他の自治体とも連携を図るべき。国は除染の話しよするなら、省庁の枠を超えて、環境省、復興庁、農林水産省、財務省とともに横の連携をとりながら、現場での裁量権のある立場の方が説明会等に同席しなければ意味がない。「我々村民を馬鹿にしている」ととらえられても仕方がない。現在子供がいる世帯がH26年3月に帰るのは無理なんです。親の責任として。仕事も職場も農家は失った。十分な補償を。
45	家族はすぐに怒り、気にする。いらいらする。笑いが少なくなった来た。
46	村の自宅のローンの支払いが残っているにも関わらず、アパート住まいで様々に不便がある。国で東電で賠償を安くすることばかり考えていることが心配。また、線量が下がったわけではないのに帰村するなどという無責任な決定。
46	引っ越しと同時に原発事故にあい、避難生活をさせられている。村でやりたかった事は何も出来ていないし、今後も難しいだろう。東電、国、村にはしっかりとした賠償をお願いしたい。
46	いまだに思うが仮設は良い生活を与えてもらって自分で見つけた借り上げ住宅に住んでいる人達にはなにも無いどうしてだろう。借り上げの人達は大変だと思う。何回も村に言っても全然だめです。帰るにあたって、家の中の放射能をふせぐりホームをしたい。国に何かと考えてほしい。
47	原発事故が完全に解決するにはあとどのくらいの年月を要するのでしょうか。村の将来像をイメージしても想像や創造は思いつきません。住環境の除染を推進しても山林を含めた全ての面的除染（総面積）を施行しなければ意味がありません。元の飯舘村に戻してください。
47	家を建てたい場所が見つかったらその場所の誘致又農地であっても特例で規制を緩和しできるだけ

	低価格で購入できるようにしてほしい
47	村や国は10年後、20年後どうなるのか考えて帰村するかどうか決めてほしい。(若者が帰らなくて年寄りしかいないくなるのに村はやっていけるのか)
47	仮設にいる人達(生活が大変)への居住地をあっせんしてほしい。→県、村へ。義捐金等、避難している人へ(特に赤十字へはだいぶ寄付されている)配布。飯館の家の補償を十分に行ってほしい。区域別の補償ではなく一律にする。
47	村長は村の意見を無視して、最低な男だ。そんなに帰村したければ自分の子、まごとか帰したら帰りたい。
48	災害公営住宅の早期じっしと精神的負担のけいげん、国がきちんとしてばいしょうをせきにんもってきちん国民にたいどをしめせ。原発を東京のど真ん中にもって行ってほしい。
48	村長は村を守っても、村民を守っていないと思う。もっと本当の事を公表すべき。3つに分けられて補償額が満足いかない地域が出たことから村民がギスギスしてきた。高線量の地区にもかかわらず、4年、5年の地区に面していても2年なのは納得いかない(小宮地区)、5年以上もどれないなら、子供の学業面でなんとかしてあげられる事ができるかも(転校など)
48	現在の飯館の土地と建物の買い取りの件について、積極的に交渉してほしい。
48	村長、議員、役場職員は、自分達の事だけしか考えていない。
49	仮置き場が近くに来ますが平成26年3月に帰村予定と言うけど小宮は3年後も除染廃棄物が置かれたら、そこに戻って住むのは普通無理なのに、解除して住むんだと何を考えているんだ村長は? その住民には何かの補償も何にもなし。近隣の住民への対応は? 何の話しもない。国も村長も私達住民をゴミと見ていて無視、○議員も役立たず馬鹿
49	同じ部落の人達との交流がない。スポーツ施設の充実、運動不足。早期に除染を進めてほしい。家の中の除染を進めてほしい。早期移転の議決を考えてほしい。ライフラインの充実。
50	仕事への通勤時間が長くなった。東電の賠償に不公平を感じる(財物、就労賠償)
50	正直な正確な情報を知りたい
50	母(75歳)がストレス等で精神を病んでいると思われることが多い。また、急に老け顔(しわ)となった。
50	いままで、いろいろ進言してきたが、なかなか改善されない。改善されたとしても、時間がかかりすぎる。
50	健康管理に対し不安である。
50	避難生活であるため、地区周りにいろんな会の場所を作っていただきたい。
50	原発事故以前の美しい村にもどしてほしい。それだけです。
50	国も村民の意見を聞くべき、勝手に3年位で帰村させる様なことをきめて、村民は納得しないと思うし、困っていることなんいったって。要望なんかだしたってどうにもならないでしょう。今までのびのびとくらしていたのに、アパートで息苦しい思い、分かりますか? 村民全員同じ補償にすべき。このアンケートは村、村中がとるべきだと思います。
50	村民の多くは帰村してからの生活設計に不安をもっています。帰村することにしても、村外で新しい生活を始めるにしても、しっかりとした生活設計を立てられるだけの保証・賠償を願うばかりです。
50	障害者(車イス)がいるので段差が心配と住宅が狭い事です。
51	福島市の避難先で農業をめざしているが、現在の農地法等の法の規制により思うような施設が建てられず困っている。特例措置を講じてほしい・
51	通勤距離が長くなった。
51	年よりの人(老人)達の気力が失われて、物忘れ等がひどくなりました。
51	地域の方とのつながりがなくなってきている。原発の賠償の中で土地や建物についていまだに何も進んでいない。このため次の生活に対して希望が持てない。

51	<p>はっきり言ってなにから何まで遅すぎます。福島県はみなさんのために犠牲になった事ですが、それなりに大きな利点的な事があるべきだと思う。はじめての事ですから、無理な面があるのがわかりますけれど、人間の命のかかわる事ですから優先的に進めるべき問題です。立場的な面で大変不便であります。早急に考えて対策していただきたいです。書くことに対してたいへん難しいですけど福島の人々の人民として今、感じる事、ありのままにつづります。書いた事がどれだけ、いろいろな立場的に尊重していただけます事がうれしい事ですが。単なる国の進めた原発のですから、優先的に対処していただきたいです。命にかかわる重大な事なので文章的にたいへんむずかしい分ですけど読んだ人がずくにでも実行できる。たいへん困難な事ですので相手の立場の良く知っていたいただきたいです。自分達が作用していない事でみなさんのぎせいになっておりますのが、たいへんいかりがこみあげてきます。くやしい一言です。飯館村の人達ですけども年齢は別にして、今現在で160人移住が亡くなっているみたいです。ですから、共同体で生活ができればこのような多くの人が亡くなる事がないはずです。はっきり言ってもっと強くなるべきです。国のやりかたに進むのではなく、一人一人の声をきいて・・・生活環境作りになる事期待しています。人民の声にしても上の方にどれだけつたわるかわかりませんが、自分の生活していた村ふる里に戻りたい。今の気持ちでいっぱいです。本当にこれからの子供達がかわいそうです。自分は今50代ですけど、水田80a、葉たばこ30aでやっておりましたが、今の気持ちは先が見えない現実です。届いた時読んでくれた人に手紙でもいいですので返事出して下さい。必ず。</p>
52	<p>避難生活は村民全体が不便な生活をしている訳で、仮設にかたよりはおかしい。借り上げの人達はかなり不満を持っている。</p>
52	<p>車の騒音はなれることはできない。</p>
52	<p>村の仮置き場の整備、除染の開始。</p>
52	<p>早期除染</p>
52	<p>賠償が遅い。農業の再開に必要な資金・資材が不足。新たな土地での再開をする場合の受け入れ自治体の特例等援助が期待できない。これら全て帰村を前提に国や自治体が対策を取っているからで、公害であるという根本を忘れていることが問題。</p>
52	<p>土地、宅地の国による借り上げ</p>
52	<p>コミュニケーションの不足。被災者を中心に物事を判断する考え方（国、村主導では困る）。震災直後東電、国、県等が情報を隠していた事に対する責任追及。</p>
52	<p>今後の生活。小さい子供がいるので帰村できない。</p>
52	<p>自宅と避難先が遠いため、自動車の運転がつかれます。自宅の中はネズミに荒らされているので困っています。</p>
53	<p>除染が進んで欲しい。</p>
53	<p>今後(避難解除後)の不安と、十分な賠償を希望します。現在、生活環境の変化で体調管理がむずかしい。広い居住空間が必要(狭い)</p>
53	<p>何事に対しても対応がおそすぎ。話しになりません</p>
53	<p>放射能と言う勉強会の場を多く日本のみんなで学んでほしい。</p>
53	<p>仮設住宅の管理人は仮設住宅を訪問する社協などの行動があまり形式的で活動になっていない。</p>
53	<p>(賠償金額、包括請求方式)で居住制限区域(蕨平、比曾、前田・八和木行政区)の金額はおかしい。特に、八和木、前田の行政区は線量が低い所が多いのに納得いかない。居住制限区域の賠償は一緒にすべき。</p>
53	<p>村民の多くが切望するものは、1、戸建ての復興住宅、2、完全賠償、3、完全な除染。1、帰らない、帰れない人の為に復興住宅の早期着工。2、安定した生活を送る為、長期にわたる補償(保障)賠償の必要性、又、土地、家屋の買い取り。3、形ばかりの除染でなく、事故以前の生活の出来る除染、特に山林の除染。年間20ミリシーベルトが安全だと言うなら事故以前の原発作業員の年間5ミリシーベルトの基準は何だったのだろうか。20ミリが安全なら、中間貯蔵や最終処分場はいらない。日本全国、47都道府県に散廃すればいいだけの事ではないだろうか。★行政は安心・安全・安定した生活をする為にこまめな意向調査を実施し、国に要望すべきである。現在村長は年間5ミリシーベルト(一時間当たり1μシーベルト)で帰村させようとしている。5ミリシーベル</p>

	トがチェルノブイリではどれ程のものなのか考え直すべきである。11月中な復興庁による意向調査（世帯ごと）があるそうです。
54	ほんとうのことを、新聞、マスコミに出してほしい。村民を助けてほしい。
54	きたいがない
54	意識をしないと体をうごかさなくなったこと。
54	子どもを元に戻してほしい。
54	生活環境が変わって心のやすまる場所がない。会社～アパート通勤時間が長いのでいつも疲れている。
54	国に全ての所有地を買い上げてほしい。たぶん、村にはもどれない。
54	伝統芸能等の継承が困難になっている。（行事）こういう事が無くてもそうだったが、更に大変になっていると思う。
54	村民の希望通りになかなか物事が進んでいません。村長も国の方に入った発言が多い様です。約束通りに言った事は守って下さい。避難生活が延長されてもがんばれる様に色々対応してほしい。
55	2世帯に分かれているので、光熱費や何でも買って食べているので食材が大変だ。また、学校行事も遠いので車の維持費が大変です。子供が小さい幼児がいるので帰村はむずかしい。その時の補償が心配です。家族がバラバラで生活するのは、それなりに維持費が大変だと思う。
55	将来の生活設計に対して不安がある。
55	後手、後手の東電及び国の対策に関して、誠心誠意は見つけられません。当事者の身になって加害者としての被害者への心ある誠心誠意を示して欲しいものです。
55	天然の野菜、きのこ類が自分で採っても食えない事、ストレス。こういった物を採って保存して、食していた生活、買って食えない物
55	放射線量がない土地に住みたい
56	問19にあるように、老後を村で暮らす事を望み、村へやっと帰れたと思ったら、事故に遭ってしまった。大変残念であり、今後の一生が全く変わってしまった。その気持ちは問19の通り、出たくて村を出て県外に避難している訳ではない。以前もこのアンケートに書いたように県外避難者への配慮をしてほしい。何ら配慮を感じられずに我々家族だけが取り残された感じがいつもしている。以下は問19で回答したとおり。
56	今だに財物に対する賠償がされていないことが問題。帰村宣言するより復興に向けて新たな飯舘村の展望を視野に入れて進むべきだ。
56	ストレスで体の変調、持病も重なり入退院のくり返しです。
56	村長はマスコミ向けの顔と村民に向ける顔が違います。原発被害者村民には98%相談もなく議会と村長で一方向的に決めてしまいます、残念。村民の生命と財産が脅かされているこの問題を村民は村長と議会に白紙の委任状を渡している分けではないのです。もっと村民と向き合って相談して欲しいです。
56	住民の意見をもっともっと聞いてもらいたいです。村長は国のいいなりでなく、村民の色々な意見を国にうたえろ。村議会ももっとどうどうと国に言うことを言え、テレビを見るとペコペコしやがって（大臣との話し合い）。
56	早く定住したいので賠償に関してもっと早く結論を出してもらいたい。（いつまでも避難民生活はしていたくないので）精神的につかれました。
56	仮設生活せまい、ストレス、家族内でも互いに怒りぼくなった精神的負担。飯舘村民でも（仮設で犬やねこと生活したい）
56	ストレスがたまっていて体調がすぐれない。借り上げ住宅（アパート）をもっと広い部屋数がほしい。一戸建てがほしい。孫が遊べる場所がなくストレスがたまる。
56	早く住居を作してほしい。年をとった両親がゆったり暮らせる家がほしい。
57	家の周りだけでなく、山、畑、田もきれいに除染してほしい。賠償や補償も無くしてほしい。（村では自給自足では生きていけない。）

57	長泥地区は本当にかえられるのかどうか、はっきり住民につたえる事。
57	避難先での死者が増加しているそうだが、孤立した者にとって、又孤独にとっても本音、たてまえを取り除いた事柄を述べる事ができる人がいないのではないか。苦悩を取り除いてくれる人がいなくなったのでは？
57	まだ、わかりません。これからでしょう。
57	国も東電も村も、私達を自分の親や子供だと思って、除染、帰村、健康生活などすべてを考えてほしい。あなたたちの子供や孫に飯舘の米や野菜やきのこ、肉を食べさせますか。山や川で遊ばせたいと思いますか。子供達の元気な声が聞こえない村に住めといえますか。生活とは、あなたたちに聞きたい。
58	ほんとうに除染をして生活が出来るのか国、村が示すべきだ。また、小宮行政区でも放射能が高い所はどのようにしていくのかわからない。
58	避難によるストレス、心労等による病気が多発しています。これは人災なのでもっと手厚い保証と支援を。まだ原発の恩恵を受けてきた双葉地方と同じ補償では納得がいけない。飯舘村や津島の自由民には特別手当をすべきだ。
58	補償は村全体、平等にしてほしい。
58	二重生活で大変である。家族がはなれ親子関係が遠のいた。
58	福島市内で村から借りているビニールハウスの近くに住宅を建てて欲しい。
58	市内は生活が楽だが、生活費等が多くかかる。野菜、米等すべて買って食べる状況に不満です。
59	一体どうなっているのか。何を考えているのか。国にすれば他人事なのだろう。そして国民から忘れられていくのだろう。
59	介護が大変になっています。高齢介護をするようになり仕事に出られない。
59	村に帰って見ると除染が進んでいないのに失望した。本当に帰村して生活できるのか不安がある？あなたは どう思いますか、線量が2.5～3.5以上なのに。
59	家族が別々に生活しているので行き来が大変です。村の除染は住宅よりも上の山から下の田畑住宅とやらなければ物作り（作物）は出来ないと思う。
59	ローン（住宅、土地の）23年11月に支払い終わったのに価値0円になった。もう一度やりなおさなければならない。
59	対岸の火事になっている。元の生活に戻してほしい。完全な除染してほしい。
59	同じ原発事故の被害者です。それを差別するのはおかしいです。それから何でも書いていますが、村に戻る戻らないは、物をつくって売って生活できるようになってから戻るようにしたい。
59	日本の国から村が無くなったな。日本で一番うつくしい村が。
59	家族がいっしょに住める場所を早くしてほしい。保障をしっかりしてほしい。今後退職により年金生活となるので生活支援をしてほしい。
59	村も事故後の対応について、ウソ、隠ぺい等がなかったのか検証してほしい。帰村しない人にどの様な支援をするのか具体的に示してほしい。ともかく、あまり期待していませんので、ウソ、隠ぺい等のない様お願いしたい。
59	村が何を考えているかわからない。もっと補償をしっかりとしてほしい。
59	私は原発事故がなければ息子、孫といっしょにくらして、自分の好きな野菜を作り、庭（植木）の手入れをして、孫といっしょに生活するつもりでしたが、生活が180度変わって、この先どうなるのか心配です。
60	何事も先が見えない事、開示がされない。
60	文科省の放射線量の発表の低さにはとまどっています。避難先の人々、仕事の人達から、飯舘は我々のところより低いだから帰村したら良いのだと言われたりします。就職の問題なのですが、貴方たちは東電から月10万円もらっているのだから、仕事をする必要なんかないのだといわれいやがらせをされたりした話を聞きます。
60	帰村するに当たり土間からほとんどリフォームしなければならず、それらのゴミの他に室内の家財等全て汚染されているもの、それらの処分する事に対して場所はどうするのか。

60	将来希望が無くなってしまった。避難先では親友もなかなか出来ず、生活再建を望むため、支援を国と県、村にお願いします。
60	肩身の狭い思いをしている。ペットの飼える一戸建ての住宅に入りたい。
60	もっとシンケンに考えてほしい。事故の重大さ、責任の重さを考えて対応してほしい。村はもっと村民の声（村長に近くない人）を聞いて議員の方々も行動し発言してほしい。
60	借り上げ住宅で自治会がなく人のつながりがなく、毎日がむなしい日々を送って気がめいってしまう。
60	村は避難指示解除準備、居住制限、帰還困難区域の三区区分に分かれていたが、10月19日に平成26年3月に16行政区を解除する方針で国と合意した様だが、前述の3区域とは区分けが違って、納得できない。賠償額等にも差が出るので、村民間の感情とかにもわだかまりが出来ると思う。今後の除染協力にも影響があると思う。何を考えているのかわかりません。
60	村、行政が村民の声を聞こうとしない。村、行政が国の言いなりになっている。村、行政は自分達は被害者という立場で声を上げてほしい。
60	仮設住宅の村民の村の対応と、借り上げ住宅の村民への対応の仕方のギャップがありすぎる。イベント参加等の情報の遅れ。国、東電に対して、村長始め、村議員があまりにもおとなしすぎる。これはおかしい？山林の除染もやらず、あと2年ちょっとで帰村しろなんてありえない。国と東京電力には充分納得いく補償をしてもらいたい。帰村する時はまず最初に村長が先に帰村し、生活してみるべきだ。
60	眠れないので困る。先々とても不安を感じる。最後までしっかり賠償してほしい。
60	不平不満ばかり言わないで、前向きに行動するしかないと思っています。与えられた環境で生活して行きたい。
61	村役場やスーパーAコープなどが帰ってきたら帰りたと思います。
61	農業をやれる環境にしてもらいたい
61	正直に報道してもらいたい。あまりに村長一人芝居です。役場職員もグルです。
61	老人、子供が安心して（ストレス）のかからない生活の場所（移転先）。村に帰村してからの仕事（農業で作物を作っても飯館では（10年間は売れない））、仕事作りを願いたい。（若い人は村に戻りたくても仕事がない）
61	除染は時間がかかる問題だが、高齢者は先の見えない生活に大変な不安（健康的に）がある。命がけの避難生活になっている。
61	問16と同様、と放射能の廃棄物の処理が出来もしないのに再稼働。今まで自由な生活、何もかもうばってしまった原発事故、私は電力会社がくれた精神的な賠償しか受けません。各病院の医療賠償、タイヤスタットレス、礼服、生理用品等一切の賠償と補償等していません。そのかわり徹底した除染をお願いしたい。
61	室が狭く、押し入れも一ケなのでもっと広い所がほしい。
62	現在、国政は何を行うべきか、政党同士で言い争い、国民の事など思っていない議員、大臣など税金、給料など出すな。国会議員は仕事していくらの方がよい。
62	先の見通しがまったくないと感じている。除染、除染といっているが、全然進んでいない現実があり、除染そのものがお金をドブに捨てている様に思えてならない。個々が自由に生活再建出来るように土地等を買上げるべき。その方が再建が早い。
62	早く除染をやってもらいたい
62	元とうりの飯館村でなければ戻らない。年数かかっても良いからしっかりした除染をして頂くことが大切。出来れば国、電力で買い上げ頂きたい。汚れた地域に将来はないのです。子ども達はもう戻りません。寂しい村には帰りたくない。帰村は悪魔とのたたかいです。
62	とにかく除染
62	村の長は国、東電に対して損害賠償でも、除染に関してもっと厳しく言うべきである（村民の苦しい生活のことをおもって）
62	これからの農業を考えている。

62	とにかく全てについて困っている。県内にもどりたいが、認知症の親をどうしたものか悩んでいる。避難先ではグループホームに入所中。福島県内では難しいと思っている。役場に話しても返事がない現状である。村は帰還を早くすべく施策をとっているようだが、条件整備が先である。今の施策には賛同できない。
62	素直に言って、国、東電、村（県も含めて）この事故（原発）に関して、本当に住民の声を聞いて（反映して）対応しているのか疑問（やっている事）、特に言いたいことは首長に（知事も含めて）「我々はなにも悪いことはしていない」のになぜ「加害者」になっているのか（肩身の狭い生活をしている）そして「実験材料」にされた。
62	前の住宅が日に日に傷んでゆく姿を見るのはつらい。しっかりとリホームをしてくれるかどうかが一番心配です。
62	私達は若くありません。村は国との取引も考えるべきである。放射能災害は復興という言葉はあてはまらない。膨大な予算を使い、不可能な除染を無理矢理行い、村民の期待をあおり、ゼネコン等への利益優先に無意味計画は早急に再検討する必要がある。現実を直視して無駄な除染より賠償に資金を使うべきである。飯舘は他の市町村とは違うのである。くやしいけど、飯舘を国に売り、出来るだけ早く新しい生活ができるように村民全員に希望を与えてほしい。※放射性廃棄物の最終処分場としてもやむえないし、国にとっても一石三鳥である。残念ながら村長は再選してしまった。事故後の村長の対応、対策、非常に問題あり、村、村長の検証もされるべきである。正にニセモノ「までいライフ」である。
62	今の状況がいつまで続くのか？先が見えず不安だ。
62	村長、議会中心に物事を決めるな
63	多くの村民の意見を聞こうとしない一方的な村長が決めている。報道の自由が村長を通さないと飯舘村では話ができない
63	一人暮らしになり、家族がいなく寂しい。
63	元の飯舘村に戻してください。
63	早く落ち着く場所がほしい
63	これから5年、10年不安ある。
63	①居住環境が狭すぎる、②老人は運動不足になり、体調保全がたいへん。③早く村に帰りたい。しかし、若い人が戻らない村の除染が心配。
63	避難解除時期等（区域再編）村民の意志確認を全くしない村行政と国の政策に最も困っている。村、議会が村民の意見を無視している。国は法律により現状を考慮せず、強引で権力を乱用している。村民の意見を集約し、困難に対抗すべきだ。
63	村民の声を良く聴いて対策を
63	原発災害の風化が心配。補償、賠償が年々先細り。家、農地の除染。帰村後の住宅改築と農業再開。帰村後の集落のまとまり。公務員が仕事をして、発言したり、施策する時、自分が「そこで生活していたら」という立場に立ち返って行動してもらいたい。年間、20ミリシーベルトの中で子供も孫も村内と一緒に住まわせますか？最後まで高い放射能の中にして、あまり下がらない村に早くなど馬鹿げてる。
63	裏山いぐねの除染がどこまでできるのか心配です。
63	将来の老後の見通しが立てられない。長期に渡って経済支援を続けてほしい。長期に渡って医療の無料化を続けてほしい。
64	情報が正しいのかどうか不安、情報が遅い。タブレットの更新遅すぎる。ふるさとカメラの点は増えないのか。二時間近くもかけて子ども達が通学して果たして学力維持につながるのか。住居所在地の学校に通学させるべきでは（負担減）、議会の質問項目だけでもタブ上で伝えられないか、簡単なような気がするが？
64	①借り上げは仮設とちがい、色々な情報が非常に少ない。②準備区なので帰村したいが帰村後の田畑の放射線量が不安です。③帰村後農業再開したいが後継者が小さい子どもがいるので帰って来ないと思う。④長引けば自分自身が高齢になるため何も出来なくなると思う。

64	古い住宅に住んでいたのですが、3年も家に帰れないんじゃない、人が住めることが出来なくなるよ。動物が住み着いた家もあるらしい（タヌキなど）
64	議会は何をやっているのか村民として判らない。議員はいらないと思う。そのかわり行政区の区長に日当制でやって欲しい。村民の意見が正しく通ると思う、村長は村を残しても、子供が住まない所に人間生活が成り立たないと思う。
64	人間として生活してない。財産も仕事も家族も友も何もかも避難者の暮らしです。加害者優先の政府、マスコミ、経済界は、私達をどう考えているのか。区別され差別され、自由も明日の見通しも希望とりあげて。
64	村が早期帰村を考えての施策は国の補償切りを推進する事に手を貸している様に伺えてならない。「戻らない村民への支援」も本当に将来に渡って続けて行くのか、大変疑問で今だけのキレイ事だと強く思う。マスコミが本当の村の実情を伝えていない事が多くとてもむなし。もっと数多く若い世代のアンケートを取って見てもらいたい。
64	できない除染よりも自立して暮らせる環境づくりと当面の居住地の建設。
64	東電は原発事故により、国際的にも、福島県にも大変な迷惑を懸けているので、一日も早く、県内全ての原発を廃炉にして下さい。
64	私は専業農家でした。土地がすべての農業で除染して本当に農業が再生出来るとは思わないし、帰還は4年後になると69歳になりますので、趣味の農業しか出来ないと思う。私は国県村に今後の農業のあり方を見て（たとえば現在農業人口年齢は70歳から75歳くらいです）4～5年は農業やれる人はいなくなる。そのような状態で何がなんでも除染でなく違う方法もあるのではいかと思います。30年後は手を振って戻れるのでしょうから、無理にお金かけなくてもと思います。
64	事故後、この国の政府、政治家、大企業（東電）、学者（御用）たちの招待を見た。避難生活を送っている中で「もやもや」とした感覚を抱いているが、その正体がなんなのか今だつかまえない。
64	私共夫婦は、平成7年からIターンという形で飯舘村に入村し、平成23年7月3日離村するので、花作り一本で暮らしてきた専業農家でした。自宅はもちろん、農地、ビニールハウス、トラクター等の機械から種を蒔くトレー、出荷用の段ボールに至るまで、すべて自力で整えました。3月11日の震災で、屋根瓦が落ちたり、内壁が崩れたりと多少の被害は出ましたが、住むに困る程のことは無く、目前に迫ったトルコキョウの定植やデルフィニウムの出荷に向けて日々を過ごしていました。原発の爆発等はTVでは知っていましたが、村からは、「なるべく室内にいるように」との広報車が一度回っただけで、事の重大さは全く理解できずにいました。無論自分達の地域の線量など全く知らされていませんでした。道行く車の人々がマスクと防寒具に身を固め、窓をしっかりと閉め、のんびり犬を散歩させている私共を奇異なまなざしで見ていることに、変な気持ちになったものです。何げない会話の中で「この辺は線量が高いものなあ」と言われたこともありましたが、その頃来村した学者先生は「タバコより安全」とおっしゃり、民主党枝野氏の「ただちに健康に被害はない」の言葉をうのみにし、普段通りの暮らしを続けていました。しかし、その頃、夫は度々甲状腺がはけていると訴えました。その後医大へ提出した行動記録の結果、夫は約9ミリシーベルトの被曝をしたと連絡をもらいましたが、この数字は信用していません。その頃のこの数字の根拠となる線量はいったいいくつだったのか全く示されていません。夫は3月15日もそれ以降もビニールハウス周辺の雪かきをしており、6月に入ってやっと貸してもらった線量計で測ったビニールハウス側面直下の線量は、最大で200マイクロシーベルト/時ありました。ヨウ素がほぼ消え去った時点でこの数値ですから、爆発直後の頃の雪の上といったいくらあったか、全くわかりません。ちなみに6月10日時点でアスファルト上1mの線量は概ね6～8マイクロシーベルト/時、道路脇ゆハウス周辺では8～14、ハウス内5～8、自宅家屋内が一階も二階も3～4マイクロシーベルト/時でした。例えば、3月15日以降ずっと6月10日レベルだと家庭しても、7月3日の離村まで最低でも12.3ミリシーベルト（一日8時間外8マイクロシーベルト/時、16時間屋内3マイクロシーベルト/時）になります。実際は最初の数日、毎日1ミリシーベルトを超えていたのではないのでしょうか。どうしてこんなウソを平然とつくのか全くわかりません。4月に入り、夫はディフィルニウムの出荷が近づいたため線量を測ってほしいと何度も村の農政課に頼みました

	<p>が、測りに来ることはなく、市場はokでだったので、4月中～5月中まで個人出荷を行いました。計画的避難が決定してからも、仮設が出来る8月までは住んでよしということで、私共の部落では多くの人が残っていました。5月末に飯舘村では9割の避難が完了したといった報道がなされましたが、これまた大ウソで依るには点々と明かりが灯っていました。我が家には犬猫がおり、仮設や借り上げ住宅には連れていけないということで、東京で空き家になっていた妻の実家に避難することにしました。その犬猫の身にも悲しい出来事は次々に起こりました。4月11日最大の余震があった依る、アメリカンビーグルの胎内被ばく児7頭が生まれました。うち一頭は白子、一頭は奇形児でした。獣医さんも妊娠後期の被曝（犬の妊娠期間は62日）だからたぶん関係ないと言われましたが、母犬は好んでホットスポットだらけのビニールハウス側面直下を動き回り、昆虫の死骸を食べたり、ネズミを追いかけたりしていたので不安はつります。白子の仔犬は他の元気な5頭とともに他所にもらわれていきましたが、奇形のある一番チビスケは共に東京へ連れて来ました。もう一頭、一番年かきの一頭は、5月20日頃散歩に出たまま戻りませんでした。この頃村にはペット保護の名のもとに、様々な個人や団体が入り込んでいきと誰かにもっていかれたまだらうというのが周囲の考えでした。インターネットなどで探しましたが未だに見つかりません。ともあれ東京へ避難した犬5頭猫一匹のうちヶ月ただすに猫は交通事故に遭い、チビスケは激しい下痢に死にかけ、これらにとって避難は大変な出来事でした。かくして東京暮らしは一年過ぎ、買い物などはとても便利だけれど、身支度一つ、外に干す洗濯物も、犬のリードに至るまで、あまり無残であるわけにもいかずお金がかかります。ご近所とは表面的なご挨拶に終始し、犬の才歩だけが日課となり、太り、気力体力共に劣化の一途です。どこかに新天地はないものか農地付きの中古住宅を探すが、いかし先立つものがあるわけではなく、早く賠償の目途が立たないかと思えます。本来であれば、人の生業を奪った側が代替地をさがして来て元通りの施設や設備を整えるのが筋ではないでしょうか。飯舘は、花作りをする私共にとって、どこにもかえがたい素晴らしい土地です。かといって除染もままならないまま帰村のスケジュールを先行させる村のありようには全く同調できません。平成7年に私共が入村する折、当時の開発公社は農地となるべき原野の表土をけずり、草木もろとも穴を掘って埋めました。一間きれいな田畑の形はしていましたが、栄養は無く、ともかればトラクターがぬかるみに沈むといった大変な状態でした。今、国がしようとしている除染はこれによく似ています。しかし順調にいったとして5年後。そこから土を肥やし、風評被害がなくなるのを待って何年かかるでしょう。私共はこの震災に巻き込まれて60才を超えました。待つ時間はありません。私共の考えをまとめると、①公けの発表は信用できないこと(国、県、村、医大、報道)、例えば線量・・・村は村役場周辺の除染を徹底し自慢気に低い数値を公表し避難解除が出来そうなふりをする。報道(新聞)される数値も引きすぎ、村のお知らせ版だけ高い数値で村民を満足させている感じがある。例えば村や行政区の会合・・・いつも結論ありきで、多少のガス抜きはさせても結果が変わることはない。このアンケートでもいくつか会合の持ち方についての項目があるが、結局は村民の意向をねじふせる道具になっているという思いが強い。②帰村はしない、出来ないということ・・・避難解除は線量ではなく、生活環境が整うことが条件と考える。自宅から村内、村外への交通網の整備、コンビニ、マーケット、ホームセンター等の商業施設、医療等が整わなければ生きていけない。村内の年齢構成はこれから高齢を向かえる者にとってきわめて不利で危険と思われる。もともと少ない若い人が大量に戻って来ることは考えられず、次々周囲の人を見送って最後に取り残されるのは困る。特に、親類縁者がいないIターンとしては致命的である。農地の除染見通しが5年後では、自分達の年齢を考えると間に合わない。③自宅の土地家屋、農地、ビニールハウス等施設設備ゆ機械等の賠償を求める。・・・無理に除染や帰村を進めるようにせず、中間処分場なり最終処分場なりを作って、千葉でも埼玉でも好きなだけ運んでくれるようにするのも一案だと思うのですが。Iターン者のお気楽な判断でしょうか。④新天地での就農が、今まで築いてきたもの以上に気持ち良く行われるよう、施設整備や機械、出荷に至るまで必要なものを整えてほしい。ただし、新規就農経験者としては、これは意外に高額でじわじわとかかる費用だということも承知してほしいことです。</p>
65	会社が村内なので通勤が遠くて大変。福島市～飯舘
65	早く土地を買い上げて
65	東電の賠償対応が不誠実(ウソはつく、あやまらない、問題点には東電ま規則だからと相手にして

	くれないなど)、賠償基準、東電内の規則等も公にしてほしい。被害者間で不公平になっていると思う。
65	一日でも早い帰村だと思っています。国の計画(予定等)はあてにならない
65	新天地を求める人達は、村に苦言を言っていないで、早く村から出て行ってほしい。残った者だけで村を再生して守って行く。
65	孫が来ることができない
65	除染が計画されているが、全く遅れている。何をしているのか?
65	自分の夢、人生設計が全て無に・・・生きる目標がなくなった。将来の事を考えると精神的な不安が。村は事故後からの放射線量を考える事とともって住民健康と住民感情を考えるべき。村は反原発の声を・・・帰っても若い者とくらしせない。賠償は(財物)完全でない。村は除染業者をやるべきではない。E t c
66	もとの飯館になるまで帰村しない。
66	考えない事にしている。
66	政府の除染はスピード感を持ってやるが全く該当しない。除染しても元に戻らないと思う。第一原発は今でも放射線が出ている。
66	ここにて勤め始めたので戻らないと言っていますが、その先はどうなるのでしょうか。介護老人(入院中)が居ますが、今後先どうするのでしょうか。二男は家に戻ると言っていますが、私の所の地区は仮置き場の風評の問題でここに嫁はこないでしょう。o家は今後どうなるでしょう。アンケートには書きましたが、まだまだ先がみえないと言うか、私にはわからない事が多いです。私はまわりの皆さん帰る時は帰ると思っています。が、今仮設の二男と介護父(入院中)が居ます。この人達の今後仮設出る時はどの様になることや。二男は地元で勤めたため飯館に戻らないといいますが、あとはやはり住む住宅をどうするか心配です。
67	資源・エネルギーを浪費しないスローライフをめざして10年経過したところで被災した。食料・エネルギーの半自給生活が一軌道に乗ってきたところで、その生活を国と電力会社に潰されて悔しい。避難先で資源・エネルギーの消費生活を強いられている。ばかばかしい話しである。経済的にも体力的にもスローライフのための新たな投資は困難に思う。飯館村にある土地・建物を国か東電が買い取って欲しい。
67	家族ばらばらの生活
67	東電による補償、賠償が不満である。精神的補償額10万円がいつまで支払って頂けるのか(村の帰村、草野は27年4月までなのか)それ以降、年間線量が1ミリシーベルトまでなのか。
68	・・・損傷で入院することになってしまい困っている。これから何もすることができないかもしれない
68	飯館村で生産される野菜や米を販売しても今後売れないと思われるので村には戻らない。
68	国、村同じアンケートしたい
68	現況：避難先は山形県新庄市であるが、農地、宿泊場所ゆ作業所は山形県金山町に借りている。困ったこと：1. 他県に避難した人々に対する支援が無いに等しい事。1. 1農業を他県で立ちあげるにあたっての支援は、現在の皆無。農業を再開するにあたって必要となる機材、資材等はほとんど村に残ってきている(放置)。そのため、以前に近い状態で行うためには、それ相当の物を新たに求める必要がある。村、福島県、山形県に問い合わせたところ、唯一あるのが、耕作放棄地を耕作地に変換するための支援だが、山形県においてはもこれには大きな問題がある。①そもそも耕作放棄地は、大部分が耕作に適しないことにより、放棄されたところが大部分と思われる。それを、再度耕作地にしても、農業経営的にかなり無理があるのでは。②私の居る所に耕作放棄地はない。減反補助金等の補助金制度の変更により、以前は耕作地でも、ソバ畑等にして、補助金を得ているため、耕作放棄地としての登録は、帳簿上、無いことになっている。このようにほとんど使用できない制度を休耕田まで広げると、適用が可能となる場所が多くなるので、政府この方向で検討してもらいたい。1. 2加工業の再建には、支援はまったくない。飯館村で、米粉パンの加工販売を行ってきたが、避難先で同様の物を立ちあげようとしたとき、それに対する支援も皆無。2. 要望として他県での生活再建策を早期に進めてほしい。同じ被害者なのに、避難先が他県という事だけで、

	この大きな差別は法の下での平等と言う憲法の本質にも適合していないのでは。是非、我々の生活再建のために、福島県に避難している人達と同等の支援策を早急をお願いしたい。なお、金山町独自の農業に対する支援はあるが、住所を移していない為適用されない。これも、現実にそこに生活実態があれば、県、町独自の事業でも適用されるように、法律を改訂してほしい。農地は、減反政策の変更で、借りるのは大変難しいが、購入するとなると割と簡単に手に入る。購入するための資金にするため、村の土地や建物の買い取りや補償を早期に進めてほしい。3. 原発事故の原因究明を進めてほしい。以前から大きな疑問として、どうして、福島第一だけ事故を起こし、第二、女川は無事だったのか、徹底的に究明してほしい。これが、次の事故を防ぐ大きな指針になりうるのではないだろうか。もしかしたら、どこかで解明されているのだが、あまり表に出てこないのか、はたまた、私だけ知らないのかもしれないが。雑感 村に一時帰宅すると、避難先に戻りたくなくなり、戻ると、あのまま住めるのかとの自問自答を繰り返すこの頃である。どこかで決断しないとイケないのだろうが、今は、悶々としていても仕方がないので、帰村するか云々はさておき、避難先での生活の再建を最優先に考えることにした。農業は村では不可能と考えているので、この地での再開となるが、地元の人にも受け入れてもらえるような生活の基盤がここにあるということを示すため、農地の取得、機械の設備等が必要と考えている。早急なる建物、土地、農機具等の補償が必要である。ただ、建物に関しては、農業が出来なくなる年齢に達したなら、別荘のように村に残している家を使用するのもよいかとも考えているので、買い上げを建物までするかは今後の検討課題である。以上
68	個人の趣味でお金とり（収入が）賠償してもらえない。東電の事故意識がない。環境の変化で体調が悪い。
68	除染をやる前に財物補償を先にしてから除染をすれば。精神的につかれると病院に行くようになる。
69	先がわからない避難生活は高齢者には耐えることがいつまで続けられるかわかりません。残り少ない人生をせめて孫と暮らせる住む住宅を斡旋をお願いしたい。
69	除染が進まず日々が無駄に過ごされています。明日に希望がもてる計画や対策が何故とれないのか政府～村への不信感がつのります。
69	特に高齢者にとっては安住の地に住居を得て、残り少ない命を一刻も早く安定した暮らしに取り戻したい。それには、それが出来るだけの賠償を早くして欲しい。そして、一度でも原発事故を起こせばどれだけのリスクが生ずるのか、国や業者は大きな教訓として、将来に生かして欲しい。肝に銘じて。
69	被害にあった不動産を将来にわたって課税しないか、買い取って欲しい。
69	仮設は部屋がせまいからせめて6帖はほしい。車が玄関前までこれない。
69	避難者は風呂は薪、コタツは木炭、飲料水は山からの引き水等でお金は現在みたいにかからなかった。月10万円では本当に大変です。
69	復興は無理だと思います。何十年かかるかわかりませんので、賠償を充分に考えた方がよろしいのではないかと。除染むずかしい様な気がします。
69	国の賠償の法律がわからない。知ることができない。どうしたら知ることが出来るのか。東京電力へ賠償を請求しても、国の方針に乗ってない出来ません。
70	私からの願いです。放射性物質を0にすることが村に帰ることにつながるので早く除染を終わるのが良い。
70	補償の範囲が少ないなっている。除染が思うように進まず、効果も余り感じられない。放射能種類でプルトニウムの情報がない。
70	先祖が築いた土地が放射能で汚され何も良い所がなくなった。これからどうなる。もっと本気で考える東電は・・・
70	村の行事があっても車の運転をしないため、移動が難しい。
70	特に不自由は無く、避難先の駐車スペースが不足している程度の問題だけです。
70	不動産賠償、慰謝料の早急な実施。飯館村の半永久立ち入り禁止と除染の中止
70	今後にて、新天地において、住宅を求めるのが心配である。

71	国、県、村信用できない
72	借り上げ住宅のまわりの町民とが苦勞してる。
72	くわしい事は村長と議会に一任する。
72	飯野仮設の所はなにも集まりがありません。なんの楽しみもありません。
72	すべての財物の補償を早くやり今後の生活の計画を立てさせてもらいたい。
73	同居していた孫のことがイチバン心配です。孫の学校の問題が気がかりです。
73	帰村後の生活保障
73	事故から一年半が過ぎてから除染だなんて丁度山のイノシシのような作業している。今の時代もっと化学的な完全な除染ができないのか？
73	避難解除の時期に関係なく賠償額は差をつけるべきでない。例えば自分の家では2年分、となりの家では5年分となれば帰村しても、避難前のような人間関係は失ってしまうと思う。②解除によって帰村しても農家が農業を出来なくては帰村する目的が無くなる。農産物を作っても良い基準値に達しても出来た作物を消費者から敬遠されては生活の糧は無い。
74	①農業後継者(息子夫婦)の今後の生活の見通しがつかないこと。②国や村は住居周辺の除染をすれば住めると考えていること。飯館村のような山間地では森林も含めての生活が山間地に住むよりどころであることを理解すべきで、単に住むだけのことなら不便に加えて、大きなハンディを負った土地に住む選択は少なくなると思う。(森林(除染の重要性)、湖沼、原野を含めて)山間地の価値の再生が図られてこそ、そこに住み続ける意義があると思う。
74	自分の身体がよわいので病院で入院退院のくりかえしなので早く自分が生まれた飯館村に帰りたいです。
74	本当に汚染して下がるのかどうか？もし何回しても一時は下がっても上がってくるのか不安だ。帰村したくてもこれじゃ帰れない。村長は何を考えているのか分からない。もっと村民の事を考えてほしい。
74	いたずらに時間が経過している。村全体のことより、離散している村民の個々の自立を優先した支援が必要。結果として、従来の子の村の人が集まるのであれば、その方が自然である。
75	村、県、国、避難生活見て下さい
75	個人の生活が乱れて、外部より良くない印象を言われる。誰がこうさせたのか。誰も好きで乱れているわけではない。もっと、村民のつながりをこまかくすべきである。
75	となりの生活者や年寄りのたかわらい。こっちはこれから先どうなるかと心配しているのに、心をさかなぜされている感じがして嫌です。放射能が低い人達は自分達の家の一週間ぐらい泊まってきて、私達みたいに放射能が高くて制限されている人から見ると、早く帰村してくれと思います。(そうやって自由に泊まったりできる人は)
75	村からの情報が少ない。国の情報を詳しく説明する機会を多く持つ。住民に安心感を持たせてほしい。
75	国からの答え早く出してほしい
75	これから寒くなってくるので建物が古いので寒くて困っています。
75	これから2～3年先飯館村に戻っても生活して行くには年齢は初め、作っても何も売れないと思うので生活していけるかどうか心配で不安です。
75	財物物件で金融に関する件で抵当権設定者に対して東電では仮払い制度を認めていない。本払いではどうなるのか大変心配している。村内でも数名居ると聞くので情報知りたいです。
76	作る楽しみがない。生活の張り合いがない。ゆっくりと休める場所がない。周りに知り合いがない。
76	村では3～6年で帰ると云っていますが、農業が出来るようになるまでは帰らないでいます。
77	別に無し
77	村に早く帰りたい
77	突然の事故にて各地に計画的避難し長引く放射能除染一日も早く除染結果報告を願っています。

77	みなさん、お世話になります。よろしくお願ひします。再選を果たした菅野典雄村長は、一部の仮設住宅を対象に挨拶回りをしたが、村民からヤジで迎えられたそう。狭苦しい居住空間におしこめられ、先が見えない不安な生活を強いられている住民にとっては当然だろう。しかし我々借り上げ住宅の住民に対しては、昨年6月以降『広報』関連の書類送付の域を超えていない。村民の声を聞かずに「帰村ありき」で除染を強行する村長。一部の議員をのぞいてほとんど「役立たず」村会議員。我々避難民はもっとしっかり自分の置かれている立場を考え「大声」をあげるべきだと思う。「飯館村民住所録を作成する100人委員会」を結成して、村づくりの基本からはじめたらと思うが、如何？
77	一日も早く帰りたい
78	私達は高齢者なので今後長期になり、帰ったら、一年より2年後は体が弱くなり、病院の数が多くなり心配。経済的な事ではあり賠償してほしい。山のもの、川のものが向こう10年向こう100年も自然に戻ることが心配と考えると今後の若者達を思います。
78	早く家に帰りたい
78	毎日身体の運動がふそくが気になります。
78	楽しみの秋、まつたけ食べたいと思うが、食べられない困った。
78	原発被害の若者は自宅に帰って見ないため、高齢者は今後どうしたら良いのか教えて下さい。
78	現場で生活していると大変きゅうくつで心配がおおすぎる。これから先、身体の・・・事が発生すると思いつつおりますか。それが何？自分のしたいことをする。
78	我々飯館村民は3.11に事故発生し避難して完了したのは6月末であります。飯館村民には非常にお粗末な対応でありました。一番線量の高い時に全ての村民は村内で生活していたのである。それに依る精神的肉体的に非常な被害を受けている訳である。また、村長及び議会が除染が今だに始まらないのに帰村宣言の決定などあんな決定は村民すべてにかかわる大問題である。慎重に願ひたい。
78	3月11日以前の環境に戻りして下さい。
79	早く除染してほしい。お願いします。
79	くわしい事は村長さん村議員さんに一任します。
80	除染を早く進めて頂くことお願いします。なかなか手間取って除染が進まない様に見受けます。政府として何をやっておるのか。
80	除染を早急に完了すること
80	まず仮設住宅（一人用）は余りにもせま過ぎる。本住宅ではないのでやむをえないかもしれないが断熱材は全く使用してないと思う。その為、夏、冬の期間は非常に辛い。
80	何事も良く受け入れてもらいたい。
81	第一に国の要望、今から65年前広島、長崎の原爆問題あり、人が住むに○じた時期があり問題になったのに放射線の消える方法の手近な除染か、線量の消す方法を研究しておかなかったのが福島の役にならない発電所を作ったのが考えると県が悪なのか市か町か村か人々か飯館村関係ないつもりだったろうか今では・・・残念だ元に戻れない残念だ。
81	東電はいま少しスピードに
81	行政区間で賠償額に差が出るのが納得できない。
81	身体が弱い為、2世代一緒に暮らしたい
81	手帳も良いが避難の村名を入れたバッチあればと思う。
82	部屋が狭すぎる
82	除染を早急に行って欲しい。きれいにしてもらって、村に戻って早く野菜をつくってみたいです。
83	生きる希望がない
83	避難解除され地域に戻っても避難生活前の農業だけでは生活は出来ません。何か別の副業が無い限り戻って生活するつもりはありません・
83	放射能汚染を早急に除染してほしい
83	飯館に帰りたい。我々は被害者だ。加害者は誰なのだろう。足の引っ張りあってばかりで被害者の

	我々の事を考えていない。
84	あまりにも狭すぎる。気分が晴れない。
84	元の生活がしたい。
85	自治組織がなく村の情報が全くわからない
85	日本一美しい村が人が住めない村になるとは残念な事だ。住宅と耕地だけ除染しても山林もしなければ放射能は無くならない。村の7割は山林の飯舘村は今後どうなる？
85	国、村のムダなお金
86	もとにもどせ
86	飯舘村農業の村は昭和時代には基盤整備10アール当たり??出して作り、放射能と原発事故は長引きめ・・・帰るかわからない・・・一日も早く帰り一家一族で生活したいと考えている次第です。
86	原子力発電による汚染を除染し、一日早く郷里に帰り、荒れた農地を元耕地に戻したい。
86	年寄りが避難によって体力がおち、病気も悪くなるばかり。こんな老人の事は村は何も考えてくれない。村長はかえる、かえるばかりで老人をすてている。
87	早急な除染完了
88	除染に期待している。
88	借家住まいが落ち着かない。自分の土地もないのが不安で地域感もないので迷子になるのではと心配で外出できない。時々大声を出し、家族にめいわくかけることがある。
89	自分たちは年齢が年齢なので良いとしても子どもや孫のためにも早く復興できるようにしてもらいたい
89	不動産の賠償を金額にしてほしい。
89	家屋を始めとし、内外の完全除染を、農作物栽培可であること、健康上に安心感をもてる生活支援等、確実な賠償を、村の復興確実に
90	色々集まりがあるが、交通の便なく参加できない。村でも余りこまかい所まではやらない。
90	避難してから妻は特老に入居させました。一人暮らしになり寂しい日々をくらしているおり自分も長い入院生活をしています。村に戻る時は妻も一緒に村の施設にお願いしたいです。70年以上連れ添った夫婦なのに情けないです。村に戻れば行ききできる近い所に妻をつれていきたい。それをお願いできればと思います。
93	生きて帰りたい
94	老人とはいえ少なくとも内部被曝が心配です。帰還した、しないに限らず体の継続して賠償責任を国は実施すべきだ
—	村長を始め村議会は「帰村」本当に安全なのか？住民の意見を聞き、十分な説明を求める。
—	元どおりの生活にもどしてほしい。
—	生活に自由がなく、となり近所の人間関係でストレスがたまり、犬などにもいたずらされたりする。
—	町の便利、田舎の自由のちがいにとまどいを感じているこの頃、疲れます。
—	原発事故により、これから放射能との生活がいつまで続くのか。私は戦後生まれで、はじめての経験でこれからどうなるのかと考えることがあり、ほんとうに先が見えない生活と思うと、残念です。
—	農業して販売、和牛飼いを営業したい

◆女性

年令	記載内容
20	義捐金、東電の補償金も世帯主が個人にわたさないため、非常に困っている。なんど話してもとりあってもらえない。
20	住所やアパートの位置も把握出来ない状況で、とにかく住居を必至に探していた頃の状態も分からずに、以後の借り上げ住宅は引っ越しは許されないのは納得がいかない。就活だって結局は今の住居近辺にとらわれ、探すのが苦労。ただでさえ、精神的に限界まで追い詰められ、家族と離れ、祖母の認知症も急悪化したと言うのに、せめて住居だけは自由がきいて欲しいです。対策お願い致します。
20	解除されて家族が村に戻っても自分は戻らない、戻れない。目に見えない物質なので恐くて、そこに住むことは無理。
21	全く先が見えない。周囲の目が気になる。「飯舘」という言葉を出すのをためらってしまう。不便な事が多すぎる。
22	避難先の近所の人が必要以上にコミュニケーションをとろうとしてくる。子供達がうるさくて迷惑。近所でのいたずらなどがある。以前よりストレスがたまりやすく、イライラすることが多くなった。
23	避難先では同じ年頃の子ども（乳児）、その親などと交流する場がなく、子育てや教育について意見交流することができない。幼稚園、小学校の就学の間を通学負担が多い飯舘にするか、地縁はないが、避難先近くの学校にするか等、今から不安、心配に思っている。借り上げ住宅の家賃補助があって、現在避難できている。打ち切られたら、そのぶんの家賃を不満（狭い、収納場所がない）だらけのアパートに払い続ける位ならローンを組んで家を買う方が良いのか・・・等と、子育てをしていく環境としての住宅をどうするか悩んでいる。
23	同じ県内でも原発事故が風化してきていること。温度差、いやみを言われる等が悲しいというか虚しい。復興財源？を全く関係ない事業にあてている国が意味不明。帰村できたとしても、一生の健康・精神面でのケアや何かの補償は考えてほしい。住所だけ基準にせず、その時飯舘に居た人全てを賠償の対象とすべき。
24	原発被害の賠償金は3分かつに飯舘だけなのはどうか。どこの地区もいっしょにしてほしかった。
26	部屋が狭い。ペットと一緒に暮らせない。家族がバラバラ
26	同じ避難者とは思えないくらい常識のない人間が増えた。（双葉や浪江からの人達はマナーを守らない）
26	子どもの1歳6ヶ月検診など避難先で検診を受けると、ややこしくて困っている。きちんと村で健診をおこなって欲しい。飯舘村だからといつも時間を待たされて大変。村からも子どもの予防接種の通知など遅い。きちんとやってほしい。
26	将来の不安。2年後、3年後、自分たちが何処に居るのかすら想像できない。
27	避難先で盗難にあったり、車にいたずらされたりしたため、精神的にまいっている。放射能に注意しながらの生活に加え、長期にわたる避難生活という状況にストレスが溜まりイライラすることが多く、家族に当たってしまうことが多くなってしまい、先行きが何も見えない現状に不安をかかえています。国、県、村は帰村させる事ばかりで、本当の事を出さず、何も信用できない。日本には子どもは不要ないでしょうか・・・
27	村は年配の人の意見ばかり聞いてると思う。若い世代で帰りたいと思っている人はほとんどいないと思う。そういう世代の今後をもっと考えてほしい。
27	家族別々で生活している事がつらい。自分の家に産後、世話になれなくてつらい。以前のように暮らしたい。
28	戻らない人のためのちゃんとした賠償の継続が必要だと思う。

29	仕事でのストレスが半端じゃない。飯館村民だと分かればすぐにお金の話をされる。職場でのことなのでイヤな顔はできない。そういうストレスのはけ口として話しの共有できる人が身近にいない。いつも気持ちが落ち着かない。社協の人達は仕事のある平日しか回ってこない。一度も対面したことがない。毎日一人になると泣けてくる。
29	借り上げ住宅、仮設などペット付加物件ばかりで住みづらい。ペット連れの避難先が限られ、ボロい物件に住んでいて不満。
29	飯館の街並み、風景などいじらずにそっとしておいてほしい。気持ちと行動が矛盾しているところがあるので、1つの答えに向かえないことがある。
29	事故当時は精神的におかしくなりそうだった。回りの情報により、今でも不安ら思ったり、安心したり、子供が将来結婚し幸せにくらせるか等心配。今、妊娠中でお腹の子供をこの世の中で幸せにできるのか。
30	子供を遊ばせる場所がたくさんあってお金もかからないのに、遠くへ来たので放射能の心配はないが、車や人の心配が多く、なかなか遊ばせる場所が少ない。お金もかかる。山で山菜やきのこ、あけびなどを採ったり、そりすべりして遊び育てる事が出来ないのがとても寂しいです。
30	今後どこに住むのが決めにくい（主人が村内勤務、親や祖父母の住んでいる所がバラバラのため）
30	収入が減り生活が厳しくなりました。家族の避難先が数カ所に別れ、支出が以前より多くなった。
31	ペットと一緒に住めるアパートか一戸建てを探してほしい。冬でも、村内の除雪をして下さい。長泥にまだ猫（ペット）がいるので・・・
31	村は国のいいなりになっている様に思える。事故当時も避難させなかったことで、“内部被曝”した村民は多い。あとから全村避難させられて、それだけの被害を受けながら、どうしてもっと村としての意見を主張しないのか不思議である。村民の意見がまったく反映されていないのも不思議。村長や国にとって都合が悪いから？
31	子供は福島に戻りたいので、いつもその事でけんかをしてしまう。交流のある旅行に参加させると、それがもっと強くなり、福島に戻りたいと言う。かえって交流させる事がダメなような気がして、参加させたくなくなる。福島に戻って今のような生活ができるのか不安なので、親としてはまだ戻したくない。
32	早く原発事故前の普通の生活に戻してほしい。
32	除染に納得のいく数値でなくても、補償が切られたら戻るのに不安でも飯館に戻らなくては生活していけないと思う。家のローンも数十年残っているし、二重生活は困難だと考える。
33	以前は野菜は自家栽培でお金がかからなかったが、避難生活で人数も増え、食費が倍になったり水道光熱費も今ではそんなにかからなかった。安い物を探せば福島県産で子供には食べさせたくありません。
34	居住に関するストレスや健康面の悪化などが見られ、将来的に不安なことがあります。
34	職場での偏見、マスコミ等のかたよった情報による差別。避難先、職場で飯館出身とは言えない。何より子どもへの影響が心配。
34	仕事が見つからない（避難前は実家に子供をたのめたが、今は面倒見る人がいない為）。村長の独断が多く、村民に対して事後報告ばかり。村民の意見を取り込む、村民投票を行うなどしてほしい。村長は帰村第1になっているが、現実的な数値を見て判断し、村民の健康第一を考えて判断し、その時はかならず村民投票を行ってほしい。
35	国、頼むからしっかりしてくれ、政局だの政権だの言っていないで、被災者に向き合え
35	書いてもしかたない
35	村に帰れず家はさびれて行き（かび臭くなったりしている）、将来のことを考えると一体自分や家族はこの先どうなっていくのかという漠然とした不安におそわれることがあるが、仮設住宅も色々直してもらい、様々な支援をしていただき、その点については本当にありがたいと思っています。ただ逆に補償の対象となっていない隣の南相馬市などは数値が高い場所があったり、町も昔の様にぎわいもなく、さびれている部分もあるのに避難区域の様な支援等がほとんどないので気の毒に思うし「私達ばかり・・・」と申し訳ない気持ちになる。

35	自宅と同じ大きさの家を自分の希望地に建てられるだけの補償を早期にお願いしたい。自宅が決まらないので子どもの学校、就職が決まらず落ち着かない。早く新しい家を購入したいが資金がない。大家族で済む中古物件は少なく、どこに行っても新しく建てるしかないと言われる。
35	教育委員会など子ども達の遊び場確保など話し合っているのだが、なかなか改善されていない。子ども達の生活も朝早くから精神的に大変だと思う。帰ってからの遊び場は確保してあげたい。安心した場所。
35	今は主人の両親が福島に残ってます。いずれは埼玉で一緒に暮らすつもりですが、離れて生活していると金銭的な事や健康面で心配がある。
35	子どもが幼いので、室内（アパ中）ですごすことだけでは限界・・・体力、運動無能力の低下の心配もありますが、（私）おこること、（子）おこられることでお互いストレスに。子どもの成長に合わせれば、長期避難はしていただけないと思い、新しい生活を考えていかなければと思います。
35	東電の賠償の中の精神的苦痛の金額について、避難の長期化につれ、それに対する金額が一年目と5年目とで同じなのはいかなものか。金の交渉、高速道路、医療機関の無料化延長。
36	一日でも早く「原発避難者」からぬけだしたい。ただそれだけです。
36	宅地を除染したから帰村と言われても、森林も除染しない限り、本当の除染ではない。大人はいいとしても子供は戻せない。ある程度大人になるまで、住宅の家賃等を支援してくれるという確かな保障が欲しい。いいかげん、安心した生活がしたいと思う。（特に金銭的問題）
36	2011年3月1日に引っ越してすぐ震災にあい、避難せざるを得なくなりました。これから新しい生活、人生が始まるはずでした。今は村に近い所で借り上げアパートでの生活です。やりたかった事が何一つできません。東電の賠償も始まっていますが、この賠償も東電独自の進め方で一方的なもので不満です。被災者側に寄り添ったものはありません。村は村で国の指針に言いなりです。村を3つの区域に分ける時も。空からの計測、そして平均値で区分分けするという、ずさんなやり方で決めてしまいました。同じ行政区の中でも線量の高い所はたんさんあるのに、平均化されては困ります。帰村を望むのならば、一件一件調べてどの様な除染方法をとるのか決めた方がいいと思います。そして、村に帰っても何もできないのではないかと不安もあります。飯舘村という、放射能がたくさん降った村のイメージは無くなることはないと思います。この様な所で何ができるのでしょうか？何か作っても売れない。誰も買わないと思います。そんな事を考えると、帰村が良い事なのか？余計に村民に苦痛を与える事になるのでは？と思います。
36	何と言ってもいいかわからないが、避難生活にストレスを感じ、孤独・・・でも子供のためにがんばらないと思う。周囲と（近所）話が出来ないし、名前すら知らない。
37	避難後、今まで作り上げてきたもの、特に農業をする為の体力が落ち、再び稲作をするとなった時、体力的にできるかどうか不安です。せっかく村に戻っても、子どもは戻らないだろうし、夫は長男なのでまた農業をしたいという考えが強いみたいなので、自分は、何ができるだろう。何をしたいだろうと不安です。今生活している場所に残りたいという長女、友達に会いたいとさびしがる次女、今の仕事も続けていかななくてはならない夫、どうしたらよいかわかりません。
38	村の除染も大事かと思いますが、村に帰らない、帰れない人のことももっと考えて欲しい。中途半端で何をするにも前へ進めない。新しい土地で生活がスタートできるような支援を望みます。
38	村民が安心して帰られるように徹底して除染してほしい。知らない土地に来て、子供も自分も心身共にストレスをかかえて毎日過ごしています。安心して暮らせるように、避難先でも除染してほしいです。
39	避難したことで職場から冷たい目で見られるようになり、とても気まずく、仕事も集中できなくなりやめたく思うようになりました。家の人達からはやめるなどと言われるし、精神的不安な日々です。
39	国・東電はもっと責任を感じて欲しい。東電の言葉使いじゃなく、言葉選びを考えて欲しい（腹が立つ）。避難生活で不満をもっと解ってほしい。担当が変わると条件も変わる。統一してほしい。
39	子供はもちろん大人もですが、県内にいる人より県外にいる人はすべてにおいて後になることは残念です（健康診断や検査）。しかももう少し子育て世代の声を聞いて反映させてほしいです。
39	便利な都会生活に慣れてしまい、いざ「村へ戻る」となると、とても不便を感じる。◎同居となるとまた違う生活を送りストレスになる。

39	職業先が無い。
39	部屋の狭さ。狭さを解消する為の棚等の購入や人手不足で、室内の片付けが進まない事。一人一部屋がないので年令（年頃）の子供に部屋を空けられず困る。
40	卑屈になっている。何をしても不安があり、のびのびと今までのような生活ができない。
40	何を書いても何を言っても国には伝わらないし、変わらない。仕事の事を言う人はいるが、もともと飯舘には仕事は少ないはず・・・人とのつながりを月に一回集会とか、朝の5時からの集まりとか、嫌な事がたくさんあった。嫁に行って、飯舘は住みにくかった。人はいい人がたくさんいたが、・・・うわさ話しばっかりで、嫁の悪口ばかり。
40	国会の人間は自分の事しか考えていない。一日でも早く災害住宅を作るなり、避難者の精神的負担のけいげんを考えてほしい。自分のふところばかり裕福にしたがっていいことねえぞー。国民をばかにしているのかー。
40	今まで二回家に帰りました。広い家に住んでいたんだなー。良い暮らししてたんだなーとため息ばかりです。狭いアパートで子供に不自由させています。せめてお金があれば暖房器具、冷房器具等買い与えてやれるのに、まだ一度も東電と折り合わずお金をもらってなくて。復興のお金を回してもらえれば、今、目の前のことの方が大事で、福島県の除染などどうせできないんだから他にお金を回してもらいたい。子どもも私立に行けるのに、なににつけ不便です。
40	県外避難者に対して差別を感じる。福島に残らない者は支援が少ない。とても不満です。補償も何も進んでいない。もっとわかりやすく丁寧にしてほしい。（補償を解決したい）
41	村の指定住宅（公務員宿舎）に入っているが、子どもが4.5畳×2ではせまく、来年中学になる子どもに宿題をするスペースをつくれないので、引っ越したいが、祖父母のそばで借り上げ住宅があかない。早く、借り上げ住宅を県、国ともに増やして子どもの学習ができるいい環境にしてあげたい。
41	村長、議員達は、もっと村民の話を聞くべきだ。国は飯舘村をどこまで除染出来るか本当の事を聞かせてほしい。
41	仮設住宅ではないので、あまり情報も入ってこないし、イベントもないし、差を感じる。
42	住宅の件、飯舘の家のローンはまだ残っていて住めなくなった家のローンを毎月払い続けていてもむなしくなる。それを精算して次のきちんとした住居の確保をしたいが今の時点で新たな借金をする勇気などない。村が用意したこの住宅はとても古く、上の階からの音がうるさくてとてもストレスを感じる。早くここを出て自分の家で落ち着いた生活を送りたい。
42	色々な団体や人々が村民の生活支援してくださって大変感謝しています。今後の農業や生活のことを考えると不安ですが、明るく前向きに頑張りたいです。
42	山の除染をしなければ帰宅は困難と考えている。村の考えでは、住宅、内だけで帰村の考えをしているが、子供達をつれて戻ることはできない。村での仕事も考えていないため、今後、新たな生計を立てていく考えである。村民である以上、平等で対応して欲しい。
42	今回2年後の平成26年3月に避難解除という目的が発表されましたが、子供そして孫の時代の事を考えたら、村に安心して戻る事は出来ません。もっと1家族1家族にあった考え、損害賠償と生活支援を考えていただきたい。いつか安心して震災前の状態になったら戻れるように。私達の年齢で戻れるのか難しいとは思いますが、子と孫達の為にお願いします。
43	義父・母が飯舘にもどるとその後の事を考えると大変だなあと 생각합니다。今はとなり同士で別々に住んでいますが、80歳ちかひのに飯舘にもどれてもこの先どうするのか、はっきり言って嫁としてはいやです。子どもも小さいので私は帰りたくても帰るわけにはいかないです。自分自身の健康、家族の健康の心配、仕事、これから先どうなるのか。不安なことばかりです。避難生活のストレスで体調が悪くなり、車の運転もできなくなりました。会社にも行けなくなり、主人はパートの仕事で月9万円の収入です。この先いったいどうして生きていけばよいのでしょうか。とてもとても、不安です。義父・母は飯舘にもどるのでしょうか。それはそれで大変で別々に暮らすことになる。
43	飯舘にある家の借金まだ払い続けてる。国で全て借金を払い、新築の住宅を建てられるくらいの賠償をして欲しい。2年で帰村は無理。子どもがいるので帰りたくないし、帰れない。帰村となって

	も、帰れない人生のために、今住んでいる住宅、生活等の補償をしていって欲しい。
43	家族がバラバラになった。ペットが飼えない（手放した）、狭い。近所を気にするようになった（ストレス）
43	長男の病気で、高校生活が大変で。就職活動が出来ないので、心配である。精神的負担がかなり高い。これから先が不透明で心配である。子どものいる家庭に（本人だけ、家族の負担も大きい）どれだけの支援があるか分からない。子ども（中学生）いじめも受けた。おじいちゃんは、解除後、村に帰りたと言っているので家族の負担も増えると思う。
43	いろいろな支援のイベントが開催されているが、福島県で行われるものが多く、県外から行くには時間と費用がかかるので全然参加できない。
43	除染をしてやったから帰村しろではなく、線量が確実に減ったら（0がベスト）帰村が大原則だ。
43	村は全然村民の声を聞いていない。村の対応には失望している。
43	通勤に時間が取られ、朝も帰宅後も子供と触れあう時間がなくなった。子供の消えた村に将来はあるのか・・・今回の件でどれだけのお金が動いているか、多くの人が人生を狂わされたかを考え、国は原発についての認識を変えてほしい。
43	仕事で被災者（飯舘村民）の支援をしているが、仕事の時はなんとかこなしているが、仕事が休みの時は他者との交流が困難で一日中家へこもっている。人と会うのがいやになっている。薬で自分の波を落ちつかせている状態である。
44	家族が一つの家で生活出来る所がほしい。狭い住宅ではストレスがたまり、毎日の生活もいやになります。一日も早く家が欲しい（子ども達のために助けてください）。いつまでも続くかわからないので、一日一日時間が過ぎていきます。
44	夫・夫の父から村の義援金と東電の賠償金を一円ももらえず借金して生活している。なんとかして下さい。
44	ペットと一緒に住みたい
45	何がなんでも除染をしてほしい。結果、考えていきたい。また、市内でも持ち家が建てられる支援がほしい。借家、借アパートではなく、村にいた時と同じ、自分の家で子育てをしたい。子どもはすぐ成長してしまう。早く要望に応じてほしい。
45	村のセシウムの他の汚染の状態ももっとくわしく知らせてほしい。そして、ほんとうに除染できるレベルの汚染なのか考えたい。帰村も自分達で決定したい。（国が帰したいと思っているからでなく）飯舘は原発事故のシンボルだからという言葉テレビでみたが、私達一人一人は決して、シンボルのために生きていない。帰すというのなら山を含め、以前のきれいな村に。飯舘をすて石のようにしないでほしい。農業はうけついできた美しい大地で精神的豊かさによって行いたい。植物工場のような生産性だけの農業には関心がいかない。
45	原発事故のせいで全てがめちゃくちゃにされ、家族がバラバラになり、病気になり、ストレスもかかえ、気がおかしくなりそうです。私達の苦しみ、住まいを奪われ、仕事も奪われ、命まで・・・悔しいです。
46	除染が無理な建物に対して、賠償補償はどうなるのか？住むことも出来ない。避難先に暮らすのも大変、私達に安心して住める場所はどこに？あるの？もし解除されたら賠償が不動産・土地のされない可能性もあるので早くしてほしい。でも村長村議会議員は力がたりない。
46	役場からの情報が何一つとして入ってこない。
46	精神的損害について：私達は美しい空気や風景、のどかな時間、おいしい水、自分の家で作った安全なおいしい野菜、その収穫の喜び、山の恵などすべて失いました。しかも、原発立地による交付金だって、他の大熊や双葉とは比べられないほど微々たるものだったはずです。原発でうるおっていた所と同じ扱いであることも、様々なこと（実害）が精神的損害にまとめられていることが許せない。東電はどんな下の社員であっても、加害者と認識すべきである。
46	国、村といった団体でかってに決定しているような決定事項ばかり、もっと村民の意見を聞いて、とりいれるべき、このままでは帰村者は減る一方だと思う（特に年金が低い人ほど多い）
46	山形に来ているので、今の自分の気持ちを話せる相手がいない事。話をしても分かってくれる人がいない事がわかっているから話せない。家族には心配かけるから暗い気持ちにはさせたくないの

	話せない事、子供をおいて仕事に出れないので家で出来る仕事を紹介してほしい。
47	正しい情報、あまりにも情報がありすぎてわかりづらいです。あとは放射能とかの単位がわかりづらいです。原発事故によって農業生産の継続ができていなくなっているのに、この狭い日本で再開する状況に不安を感じます。糸長先生はじめ、みなさまの支援感謝しております。よりよい方向生を見いだすことを願っています。
47	東電、国の補償、賠償に誠意が感じられない。精神的苦痛に対する賠償というものかせあるが、「慰謝料」と受け止めていたら、「生活費に当てて」との返答。3カ所に分かれて避難した我が家は、月10万が3カ所の光熱費に消えている。これで精神的苦痛に対する賠償といえるのか？怒り心頭である。居住空間が狭く、収納にせよ、プライバシーにせよ、仕事にせよ、（持ち帰っての事務仕事）不便で仕方がない。このような生活苦を東電経営陣、政治家は全く理解していない。
47	緑をあまり見ないので視力が悪くなった。東電の賠償も区分けしないで平等にして欲しかった。まだ、除染も始まっていないのに一回くらいの除染で村に戻れるか？
47	とにかく買い取りができるようにしてもらいたい。
48	帰る事も考えたりするんですが、線量が低くなったらば考えたい。
48	国と村はなにをやっているんだ
48	避難先は自宅よりせまいため、子ども達や親類が集まれなくなった。実際、娘が出産したが、「里帰り出産」ができず、大変な思いをさせた。色々な面で不自由しているが、国や東電は本当にそのことをわかっているのか？
48	これ以上苦しむ人々を作らないように原発問題を考えてほしい。
49	村の企業に福島市内から1時間以上もかかり通勤していますが、このまま通勤が続けられるんかこの先不安です。体調もくずし通院しながらの通勤です。集合住宅を企業向けに建設（二枚橋等に）して頂けたらと思います。
49	仮設住宅がせまく、泊まりに行きたくてもむりなので、仮設に宿泊施設が出来ればいいと思う。
49	飯舘村も原発で被害のあった市町村、確かに子供の事も心配であるが、この避難生活で、高齢者をかかえての生活はとても大変である。子供を支えているのは親である。このままでは生活を支えている世帯主、親の方が先にまいってしまうのではないか。その辺を何と考えているのか聞きたい。
49	通院と住みなれた土地を追われて、3～4年この生活がつづいたらとおもうといやだ。
50	家族と一緒に生活していても心がバラバラになっている気がします。それぞれに自分勝手に生活し食事をし、・・・一緒にいても心がさみしいです。犬やねこと一緒に住むこともできず・・・飯舘の言うに帰りたい気持ち半分、健康や孫と一緒にいるためには帰れない・・・が半分です。
50	今まで積み重ねていた人生設計がダメになり夢も希望もなくなりました。今後の住居の問題など手探り状態です。早く国の指針が決定し生活が安定することを望みます。高齢な父母のため早く我が家を提供したい。
50	ペットと一緒に住めない。先祖から受け継いだ財産を今後どのようにすればよいのか迷ってる。
50	原発原発と恨み、つらみを言うのはあきました。二度と前には戻らないから、一日、一日を大切に生きて行きたいと思います。
50	以前のきれいな村にもどしてほしい。出来ないのなら早急に対策を考えてほしい。それだけです。
50	除染しても無駄だと思う。又元通りに戻らと思うから。
51	原発被害で失業し、いまだ就職できず、目の前が真っ暗。若くないのでとても不安。
51	除染して帰村しても山菜採りや自家用野菜の生産が出来ないのに賠償や補償もなくなってしまったら、村では生活して行けないと思い、今後が不安です。
51	友人を作れない。知り合いがいなく話す相手がない。部屋がせまく、夏はあついし、冬はすきま風が入りさむい。（アパートTが古いので）
51	国はなぜ3つに再編したのか？帰還時期について、（私は居住制限地域です）又、ちがう3つに分けたが、同じ居住制限でも、わけられておかしいと思う。賠償に差が出て不公平。村は長泥地区と他の地区の2つに再編で良いと思う。5年、4年、2年では差がありすぎる。国は、「大丈夫だ、大丈夫だ」と言っているが、今までどのくらいあったか分からない放射能。完全でない除染では戻りたくない。私達は実験台ですね。若い人は戻りたくないし、戻らせないし、どうなってしまうの

	か。
52	今までの開拓時代は一瞬にして泡の様に消えて行ってしまいました。(私の中で)そして自分が生きて来た証が無くなった様に思い、心の片隅に曇った穴が、潜んでいて日々行ったり来たりしています。自分のために仕事をしたい。
52	私達が被害者なのに何でこんなつらい目に遭わなければいけないのですか？親は無くなっていくし、孫とも会えないし、生きて行く望みが無くなります。去年の3月10日までと同じ平和な暮らしをかえして下さい。
52	村民の命をたすけて下さい。100%の補償、安全なところで生活できるように。
52	仮設住宅にいる人達には、情報が入るが、借り上げにいる人には情報が一切入ってこない。また、自治会等を立ちあげるにしても、開催時間が勤務時間内になっている。どのような考えでその時間を設定しているのか、理解に苦しむ。とにかく村のやろうとしている事は村民無視の事ばかりだ。
52	村長、議会、国は自分の事しか考えていない。福島のことを忘れていてのではないのでしょうか。
52	庭もなくせまくて息ぐるしい位。もう飯館には戻るつもりもないのでどうでもいい。帰村のアンケートを村がとるべきだと思う。
52	県外避難していると村の動き、これから何がどうなっていくのか全くわからない。時々、テレビ新聞等で良い話しをしてヘラヘラした村長の顔を見るが、私は信用していません。自分で何が困っているかわからない。これからどのような生活になっていくのか地に足がついていない様な生活を送っているのが不安です。少しでもこのアンケートが反映される事を期待しています。
52	避難解除の時期は、村(行政)で判断するのではなく、全村民、特に若い人を中心に考えてから決めてほしいです。高齢者が戻っても若年層が戻らないのでは姨捨山になってしまう。何もしないで補償をもらって生活している方がいて一生懸命仕事している者は何も補償されないのは不公平だと思う。仕事しているのだからいいだろうといわれるのは少々納得がいかない。
53	相馬の仮設住宅は自治会があるが賃貸住宅は自治会がなく、村とのつながりは月に二回送られてくる公報だけ。仮設だけでなく借り上げ住宅にももっと目を向けて欲しい。仮設住宅だけが村民ではない。
53	一度だけの除染ではとても心配。山も田も畑も除染して大丈夫という段階で帰村の話しをすべきと思う。
53	もとにもどれないから
53	解除してもしも帰村しても、健康管理もお金も保証してほしいです。帰村が何年もかかるなら、一戸建てを市内に建ててほしいです。村内に公営住宅に入るなら、自宅に戻っても同じだと思います。
53	仕事をしたくてもなかなか仕事がない。生活のリズムや人とのつながりがなくなり、孤立してしまいった。老いた義母の事が心配でならない。だんだん老いている。93歳の義母は私の事を忘れてしまった。
53	除染も何も始まっていない今、先が見えない今、不安の中にいます。たとえ、村にもどれても生活できるか？線量はどうなるの？今の現状では何も決められない。前に進めない。
53	仮設住宅と賃貸住宅との差別がありすぎます。役場では村民が一人一人の避難先がわかるのだから一緒にしてほしい。ハガキを頂ければ役場の方に行きますのでこれからはそうしてほしい。何事においても。
53	とにかく対応が何にしても遅く感じられる。2年の避難というが、この先除染のスピードが一気に上がるとは思えない。先手先手をうってほしい。
54	せまい部屋でくらすなくてはならなくなり、余分な荷物は置けない事が困っています。村では水道代もかからなかったのに、避難後、経費がかかりすぎる。国も安心、安全としてしてきた原発、それがこの非常事態、十分な補償をしていただきたい。
54	生活全部です。
54	村のニュースを見たり読んだりするたび、あまりにも自分が考えている方向とちがいが、残念です。誰かの意見に傾いた判断で心配ですね。すべての世帯の聞き取り調査を、村が足を運んですべきでしょう。それが一人一人に寄り添った復興計画づくりの基礎になると思います。相談員が月一回来宅しますが、あまり意味がありません。きちんと意見を吸い上げてほしいと思う毎日です。

54	失職後再就職の目途が全く立っていない事
54	1年半後に避難解除すると言っていますが、山菜、山のきのこ、飯舘村で生産する物がはたして販売出来るのか？そんな所で生活して行くだけの収入を上げられるのか心配です。除染の進み具合で一年、延長するなどと言っていますが、そんな中途半端なもの地が足につかない様な生活で、できれば白・黒の判断は早くしてもらった方がいいです。
54	避難して、猫が全部亡くなりました。家に一匹だけいる犬と一緒に暮らす事ができないので辛いです。福島で一緒に住める所を探して欲しいです。それか、預かってくれる所を見つけて欲しいと思います。
54	我が家は現在、4世帯で生活しています（飯舘2、浪江町1、新地町1）でも、日赤による生活支援6点セットは、自分で借りた家のため1セットもいただけていません。なかには、一世帯で3～4セットももらっている世帯があるのになかなか不公平だと思います。又、その他の支援物資を遠方にあるとのことで、もらえていないものがほとんどです。同じ避難生活なのに、納得のいかないことが多い。
54	孫ができて、8畳一間のアパートではとまりな来ることもできず、子供がストレスを持つ。もっと家族団らんできる住まいが欲しい。部落の人ともなかなかあえず、さみしい部分もある。除染して本当に住める状態になるのか今後の生活のしかたを決める事ができず不安定である。
54	2年で帰れる訳がないのにどうして国に同意したか村長の考えがわからない。
54	通勤費が加算して大変である。※通勤距離が長いので疲れて眠くて事故りそうで怖い。
54	一言に除染と言っていますがけど、あれもこれも出来ないと言う、ゼネコンの金取りかよ。税金のむだづかい。だったら、ちがうやりかたもあったのでは。若い人達は戻らないと言っている中、年寄りだけ帰ってどうするのか。まったく。村長はもっと村民の声をきくべきだ。
54	息子家族が来て、家族がゆっくり団らんする場所がない。少し大きな一戸建ての借り上げ住宅を希望しているが、思うようにならない。
54	小さい子を持つ親は、帰ることは難しいと思う。帰りたくても帰れない人、帰りたくない人への施策は、村というよりは国、東電が積極的に考えるべきである。国は責任を果たすため積極的なかわりを求めます。長引くにつれ、高齢者ばかりでなく、若い世代にも避難の疲れが見られる。ストレスは増すばかりです。
54	アパートがせまくてストレスがたまっている。広い部屋にすみたい。風呂がせまい、一戸建てを紹介してほしい。
54	部屋が狭い。
55	避難をして毎日、国の対応に強い遺憾を感じてる。
56	国、東電は人災と認めているのに何故避難解除を無理に解除しようとしているか。除染をしないうちに村も何故同意したのか。山、田、畑、家の順に除染するのが本当ではないか。無理に帰そうとするのはまるで人殺しと同じではないか。国と東電は被災者を人間とっていない殺人者である。1号機～4号機の核燃料を取り出すことをしてから解除するなどを村民にと井、震災前の土地、山、田畑を元に戻せ。
56	アパート生活をしたことがないため睡眠も十分にとれず、となり同士の付き合いもなく、村内で暮らしていたような人のつながりもなく、二階に住む人の物音などが気になる。自由な気持ちが持てない。やっぱり自分の一軒家とは違います。早く安心して暮らせるようにして下さい。
56	原発被害で体を使わず大変楽をさせてもらっている。本当に考えられない事である。私達は日本国民である。私達の事を本気になって考えて欲しい。家が有っても帰れないのは本当につらい。
56	仮設に住んでいるので今までの一戸建てとは違うので生活は大変かも
56	農業しかやっていなかったもので、季節になるといつも思っています。身体をうごかしていないのですぐにつかれます（木の葉くらい）春は水田とタバコの準備、夏はタバコ取り、秋は稲刈りわらあげ、タバコのかんそう。
56	周りにコミュニティがなく、ぽつんと無人島にいる様な感じがする。今後、どうしたにらよいか。先の見通しがつかない。帰れるのか帰れないのか？どのように生活していったらよいかまだ分からない。

56	飯舘村に住んでいる時には新鮮な野菜を前の畑から収穫し、すぐ料理出来たが買って食べる事のむなしさはとても悲しいです。精神的苦痛はお金では買えません。避難前の飯舘村に戻してほしい。
56	避難前、村長は帰村する時は村民全員一緒と言っていたのに、再編をしたのは、5年、4年、2年と村全体で違う。新聞を見ると、一転、二転と代わって居る。そののどこを信じたらいいのか村長も議員も東電の犬か？
56	若い人も一緒に帰れる状況でなければ村はやっていけないと思います。避難指示解除見込みは村が提出した帰還になるよう国と交渉してほしいです。
56	飯舘に住んでいる時より、風呂やトイレも近くて部屋は暖かく、これから寒さには大分良いと思うが、ベランダに花を植えているので。季節の変を楽しみに見ている。
56	一日も早く家に帰りたい。ただ、家が放射線量が高く、保障を全面的に
56	何もかもくるってしまった。もう村には帰らないと思うので、これからの生活をきちんと補償してほしい。
57	将来が見えない生活の中で、定住宅がないことが不安です。同居している母は足腰が弱くなって歩くことが困難です。一年、二年先は歩けなくなるのではないかと思うと胸が苦しくなります。私達は帰還困難地域で5年は戻る事が出来ず、早く住宅地（土地だけでも）を見つけて欲しいです。
57	もっと早いたいさくを
57	とにかく除染しても本当に村に帰ることがはないと思う。すべて山、川を除染しなければ余計なお金を使用するなら30年間補償し、その30年後に子、子孫等に返却する事も良い考えかも知れない。とにかく買い取ってほしい。無理だと思う。帰村するのは？
57	困っている事は多々あります。すべてが変わってしまったのだから。放射線、目に見えないだけに、プランターに家庭菜園でもして、少しでもまぎらしたいけど、口から入るだけに他がでない。孫もいるので。
57	私達を受け入れてくれた市や町に感謝しています。ゴミを出したり、図書館を利用したり、不平不満を言うことも大事かもしれませんが、まずは感謝してから・・・。もちろん東電には不満だらけですが。
57	風評被害、飯舘村民というだけで別視されてる観がある。早急に除染を望む。いつまで地に足がつかない生活が続くのかと思うと不安になり、眠れない。自分の存在意義までも考えてしまう。
57	①家族、ペットがバラバラになってしまったこと。（勤務地の都合で一緒に住めない。かなりのストレスになっている。）②通勤時間が長いため、家でゆっくり休む時間がとれない。交通事故が心配。
57	死まで保証してほしいです。月10万円のお金では生活していきません。年金はまだ収入無し。
57	村民はいつも弱い立場、国と村の議員と村長で事を進め、村民の意見は通らず、原発の起きた事件をもっと重く感じるべき。私達は被害者、刑罰を受けるべき東電や国の方が強く、いつのまにか、私達の方が弱い立場にどう考えてもおかしいです。現在、避難先の周囲から冷たい目で見られています。お金をもらっているだろうか、もう帰ってもいいのになぜ避難しているのかとか、これが現状です。私達は何も恩恵もうけてなく、もっと補償すべきではないか。
57	家族が離れて住むようになり、お盆や年末年始等に家族が一同で揃う場所がなくなってしまった。（借り上げ住宅等は狭いし、旅館等を利用したくとも、その時期は宿泊代が高い）。友達との交流が思うように出来ず、電話等に頼り電話代が高くなった（遠距離）
57	孫に米・野菜を送ってやれなくなった。孫が遊びにこられなくなった。賠償をもっとしっかりして欲しい。
58	大切な人生を「待つ」ことで時間を失いたくない。社会福祉協議会で避難先を回ってお茶のみするのはやめて欲しい。村は線量の高い村内になぜ住宅を造ろうとするのか納得いかない。もう少し健康のことに主眼をおくべきだ。帰村帰村と騒ぐが、老人が戻ればその人達を守るために若い人が犠牲となることだけはやめて欲しい。
58	高齢との義父との二人暮らしで夫と別れて暮らしています。息子家族とも離ればなれになってしまっていて、3カ所をローテーションしていて疲れてしまいました。避難が解除になっても農地がダメでは義父は家にこもっていて、だんだん体が弱ってくるのではと思っています。宅地だけではなく、

	自家野菜を作る農地も除染が必要だと思えます。飯館に帰っても意味がないと思えます。
58	村に帰りたくなくても、新築したばかりの家があるので、帰らざる得ないかなとか、家の補償などが分からないので、くやしい限りです。
58	生活がとにかく一変してしまったので将来への不安が大きい。放射線量が下がっても戻れるという保障はないし、過疎化が進み住めるかどうか・・・孫たちが遊びに来られないのでは居住しても・・・将来のことを考えると全てが不安。
58	避難と同時に母が福島市のホームに入所しました。兄夫婦は、南相馬に避難しています。村に戻りたいと思った時に飯館から福島に居る母に会いたいと思う時遠くで大変です。戻る時にいいたてホームに戻れる（入所）できればと思っています。避難により私達家族と同じ思いの人が多く思います。父も避難してから入院し90才をこえた父、母が大変にかわいそうでなりません。
58	家が住んでいない為、痛んで来る。賠償の継続延長、または、遠距離での通勤、冬期間。
58	来年の3月に福島に帰ります。孫が中学生になるのに合わせて（飯館中学校に入ります）不安ばかりです。農家に嫁いだ時が19才でそれから土と共に子供を育て、生活して来ました。その土地が今どうなるかわからない。自分の足を着ける場所がないことはどうしようもなくなかなか不安です。
58	孫の小学校生活もようやく慣れてきた所で、あと2年程で帰村しろと言われても無理です。（小学校生活の4年間は大きいです）孫の為にこちらで生活したいので飯館の家と同等の家を購入できる程度の補償をしてほしいです。早急に。
58	先が見えない分、心の底から村をあきらめるとい事ができない。土地とかではなく、そこに生きてきたという事実を・・・子供は帰村しないと言っているので、避難先で新しい拠点づくりをしなければならぬ。
58	公営住宅に住んでいます。飯館20行政区ちかくに住んでいます。区分もちがいが話しをしても金の多い少ないで話をしてもおもしろくありません。住んでいる皆さんがバラバラななっていくのが目に見えてわかります。
58	思っていたより、ストレスがあったのです。この質問アンケートもやっとです。集中力、読解力がなくなったように今だに感じてます。むずかしい物、長い時間は耐えられません。
58	体の調子が悪い。年齢も年齢でこれから農業で生活できることを考えられないので賠償をしっかりとやってほしい。
59	避難一年も過ぎないうちに夫は他界し、二重の生活を続けていくのは大変であり、行政区長として原発事故がおきてから。地域、村のために精一杯働いた夫が原発関連死でないかと判断され、夫が一所懸命みんなの為に頑張った事が何だったのかと思ひ、命さえつないでいてくれたらと悲しくなります。除染が進んで帰れるものなら夫と一緒に暮らした自宅をきれいに片付けて、村で生活したいと思っています。
59	村内の人同志なら話もあうが、温度差があり、肩身が狭い部分がある。年数が長くなるとますます精神的に追い込まれてきそうです。
59	早く土地を買い上げてほしい
59	早く元どおりの生活に戻りたい。狭いアパートでストレスがたまる。除染は、宅地、農地、山林すべて徹底してやって欲しい。元の飯館村にして欲しい。そうならないと帰れない。
59	村の自然の中で犬も猫も老人も、障害者も自由に生きていたのに、ここに来てすべてがくずれていることに生きるすべをなくしています。
59	東電の賠償で思うように全く進まないことです。飯館村は原発の近くの町村とは全く違うと思うのですが、一時立ちよりも一回しか認めてもらえないし、個人ではいくら言っても太刀打ちできません。村民のことを本当に心配していたなら村は村民のために本気で賠償のことを取り組んでほしいです。除染なんていくらやっても絶対に元のようにには不可能だと思います。
59	一日も早く、自分の家がほしい
59	住民の意見が村の方針決定に全く反映していない。村のトップ（数パーセント）の独断で対策案がつくられ、避難解除時期や区域再編が操作されている。自分の考えだけを押しつける村政は問題で危険だ。村民投票で村民のを集約していかなければならない。あなた達も少しは役に立ってほしい。

	前回の違いを見せて欲しい。
59	もっと村民の声をしっかり聞いて欲しい。村長さんの意見だけで何もかも決めて欲しくないです。もっと村民のことを考えて下さい。そして完全に戻れる様になったら村民全員で我飯館村に戻りましょう。それが願いです。
59	体を動かす事がなく、ただ一日一日が過ぎる事が悲しい。
59	私は実家にいますが避難生活でできることは、自分の子供達が家がないのでとまりに来て、とめられない。しそして、親達がぼけで年取りで・・・・・・・・
59	仮設仮設とばかり大変なような事を誰もが言っていますが、借り上げの人達だって狭い所にいるのは同様なので支援の方も同様に行って欲しいと思います。
50代	1500世帯ほどの村民の精神的慰謝料が2年、4年、5年はおかしい。全戸5年にすべき。住みたい土地での購入金額を賠償するか借り上げの期限無しの補償をして欲しい。
60	仮設生活がくるしい
60	狭い場所の生活なので健康面について（ストレス）。食の安全
60	今年の四月に母が亡くなり、まだ納骨をすることもできないでいます。村、国はどのように考えているのか理解できないで困っています。大切な家族を放射能にこれ以上さらすことはできません。
60	元の飯館村に戻して欲しい。飯館になるまで帰村しない。役場、農協、飯館に帰村するまで帰らない。
60	早く帰村出来るような状態にしてほしい
60	台所(仮設)はせまい。フロもせまい。もう少し広く明るくしてほしいです。これからはもう少し広いへやがほしいです。ものを少ししかおけないのでこまります。
60	何となく、何もしたくないさみしい毎日です。
60	借り上げ住宅で部屋が狭く、仮設の様に物置が必要。国会議員が机上の議論だけでなく、避難所に入り、細かく現状を知ってほしい。全く頭のないような対応にしか思えない国政に腹が立つ。
60	私は土着民。仮の家は難民そのものです。自分の家を持ちたい。だけど土地が決められない。広い家にいたのでとても不便。庭がほしい。木を植えたい。畑に果樹木（ブルーベリー等）を植えたい。原発に対して村も本気で怒ってほしい。村にも事故直後の対応に非常に怒っている。国、県、村に刑事責任を強く追求したい。
60	仮設住宅入居者の苦情、要望はすぐニュースとかでとりあげられて改善されているが、その他避難所に住んでいる私達のような者はおきざりで、シャワーもないし洗面台もない。入居した時は、ハウスクリーニングしたというのが全然やってなくて、とても汚かったので掃除するのが本当に大変だった。村長さん、役場職員他は良い所に住んでいると聞きます。私達底辺の村人は、我慢して暮らしています。よその人からは、飯館の人は避難している間・米はもらえる人だってねとか、色々云われて困っています。もらえているのは仮設住宅の人だけらしいのに・・・飯館の避難民という嫌味云われるのもう云わない事にしています。私達、何も悪いことしていないのに、「10万円もらって遊んでいられるからいいわね」とかいう人いるので本当に困っています。村長も議員も村民をもっと考えて行動してほしいです。
60	時の流れはあっという間にすぎて行きます。出来る、出来ないを判断して下さい。そして、新たな、新しい村を作って下さい、その日までがんばります。
60	村長さんの目立ち、議会の存在感を感じないのはなぜか。帰村のみ先立て本来の村民の声がとどいていないと感じる。又、村は放射能が高いのに国への対応は弱腰いいなりしかも、双葉、浪江の首長さんとの連携がないのはなぜか。村民と共に対応すべきと思う。帰村するには1mシーベルトをめざすべきと思うがはたして何人帰村するのだろうか？
60	仮設住宅は狭すぎて気が狂いそう。月一回程度、村に戻って家の中を全開したりすると気分がスッキリしてストレス発散できる。
60	一日も早く、仮設住宅ではない、安心、安全な所が自分の家に住みたいです。そして野菜などを作って食したい。
60	子供達は孤立して住んでいますが、将来放射線の事を考えると村内には戻らないと言っています。居住場所だけ除染しても、山、田、畑を考えると戻るのは無理だと。・・・（家族がいますから）

	親だけ戻っても、どうにもならないと思います。そういう人達の事も考えてほしい。資産等、国、東電に買い取ってもらえる様にしてほしいです。
60	村外の生活は、とても大変、早く村に帰りたい。村で農業したいと思っている。けど無理でしょうね。一日も早く村に帰りたい。みんなで生活したい。
61	糸長教授のように村民の事を考えてくれる人民、そして本などに書いてほしい。国は福島県、そして村の事、原発事故を忘れていて。村民はガマンをして、だまりこんでいる（わかりますか）
61	車で歩くのに道がわからない。場所を言われも道がわからない。
61	将来の見通しがわからない。国や村など行政が信用できなくなった。マスコミは本当の姿を報道してくれない。避難指定になっていない人達から飯館はいいねと言われる。
61	今までのとなり組の付き合いをしたい。お祭りをしたい。村の人に会いたい。いっぱい話したい。婦人会の活動、消防の活動、みんなとはなればなれになったことがさびしい。国はもっと生活のこと、これからのことをはっきりしてほしい。除染はしなくてもいいのではないか。将来のみとおしをはっきりしてほしい。
62	毎日の生活でテレビを見たり休眠してみたり、作っている野菜に水をくれたり、拭き掃除したの、買い物してまかないしたりして過ごしていますが、毎日暇な時間があるのでもっと何かあれば退屈でもないかなと考えています。
62	高齢になって知らない土地で生活にストレスをいっぱいためているお年寄りがたくさんいると思うので、子ども、子どもと言って子どもだけでなく、年寄りのことをもっともっと考えてほしい
62	アパート生活には近所の交流が少なく、早くに交流の場所が欲しい。（見守り隊に行っているので、日が合わないところが多い）交流している人々もいるのですが、多くの人達に声かけしてほしい。
62	何も言いたくないが、前の生活にもどれたらどんなに楽だろうとばかり考えます。仕事もなく、体がよわっているのが不安です。
62	私営住宅なのでいままでかっていた犬をあずけているので早く犬をひきとりたい。遠くまでつれてきて、一年位会社の敷地においてもらったが一年以上になると、行為にもあまえられずやむなくあずけてしまい、時々思い出し、一日も早くひきとりたいと願っています。一日も早い除染お願いしたい。
62	アパートがせまい、介護に大変。
62	今、飯野町の仮設にいますが、大変と言う文字以上のもので大変な毎日の生活です。前と後からのサンドイッチの間にいるものですから、心身共にストレスで明日にでもここを出れるものならすぐにでも出たいものです。（前と後の間は2Mも離れていません。
62	村民は避難が遅れ、被曝は双葉地方より多いと思うので、補償や避難解除は双葉地方の住民が解除されてからしてほしい。村も県も東電や国に村民の現状と本心を伝えてほしい。
62	一日も早く除染を進めて、一人でも多くの人が村に戻れる様にしてほしい。仕事を続ける為に村に通勤しているが、村に着くと不便を感じる（郵便物、運送等）。避難生活が長引くほど村の不便な所が身にしみる。
62	住居問題、孫や親せきといっしょに住めたり、泊める事ができる家が欲しい。安心して生活が続けられる様な補償して欲しい。
63	人間関係、隣近所つきあい、本当にストレスがたまります。仮設暮らしはまったく大変です。
63	避難も長くなり避難先でもいろいろ税金も払わないとの悪口が聞こえてくる。飯館から避難していることを隠すようになった。
63	これから何年ひなんしていなければ良いのかははっきりしてもらいたい。10年もだとしたら年なので早く落ちつける場所を探してください。
63	飯館村で今までのようにいろいろな話きいて飯館村の生まれた時にはやくもどりた
63	村に居た時と近い環境で生活していますが、一生ここで暮らす気はありません。できれば村に戻りたいと思っています。ていねいに除染して農業もできるようにしてください。年齢の事を考えれば、長期間かかれば体力も気力も落ちてしまいます。
63	新天地を求める人達は早く飯館村から出て行って下さい。
63	孤立しています。

63	若い家族と離れ年寄りをかかえ（90歳、74歳、64歳、63歳）、遠い所で病院通いをしながら、牛飼いをしている事は大変不安です。
63	早く除染作業を進める事。
64	きれいな水がのめない事、自然食
64	一日の日課ちゃん8時間ーBSスターチャンネルタバコ たばこけむり 寒がりでカンキ、空気のいれかえ、こまったもんだ。私にとりよりの部屋4時さわがしいびきストレスたまる・
64	①借り上げ住宅はせまくて大変だ。②早く除染を進めてほしい。③長引くと自分自身も高齢になるため何もできなくなる。
64	家族が別々に生活している為、食事面の心配。できれば一戸建てに住みたいが希望する物件が今は我慢している。早く帰村したい。
64	先の見通しが見えない為、気分がはれない。夫婦の会話でもお互い、細々な事でおこりっぽくなっている。情報が少ない。
64	放射能の低い所と高い所の人と一緒にいるのがいやです。生活音や自分かってなふるまいをする方が沢山いてびっくりです。
64	一日も早く安心安全に場所で一戸建ての自分の家と言える少しの庭と畑があつてまわりに気づかいが少ない所に住みたい。村長は帰村の話だけで、帰村しない人の話を聞こうとしない。国はハッキリと私達に方向性を示して欲しい。できるもの、できないものハッキリしてよ。被害者の望みを聞く事が復興だろう。
64	先が見えない事（いつまで続くのか）心配
64	飯館村でガソリンスタンド、LPガス、燃料全般、水道工事営業ですが、村民がもどらない村で、若者、子供達がいな所での商いはどうなるのか、一代で終わることは考えたくないです。
64	子供達や孫が里帰りできない。迎えることができず一番つらい。必要な物は家から持って来て使っているが、中にはいろいろ買って（それも高価な物）東電に請求している話をたくさん聞く。それが認められることにすごく疑問を感じる。
64	現在、見守り隊で使っていただいておりますが、見守り隊が無くなった時の仕事の場所と村に帰った時の日常生活が今まで通り出来るのか？
65	夜眠れない。国も大変でしょうが、私達はキタイしています。信じてガマンして生活するしかありません。
65	原発被害の賠償金は3分かつに飯館だけなのはどうか、どの地区も一緒にしてほしい。
65	事故直後の避難に対する村の対応は村民の安全を無視する形で、大変不安だった。行政のスタンスは基本的に変わりなく、帰村した村民による除染作業の労賃などで経済的側面をエサにして帰村をうながそうとしている。国は原発が制御不能となったら第二、第三の福島が生まれることを真剣に考えて、一刻も早く再稼働せず（日本の原発を）とすべきと思う。
65	仕事が見つからない。どうして仕事を探せばよいかわからない（どこに相談するか）
65	仮設の生活とても大変だよ。1. 押し入れが足りない。②部屋かせとてもせまい、なにもおけない、月に十万の生活が難しいです。だってお金がないです。犬、猫も家の大切な家族です。なんとかしてほしいです。
65	部屋をもっと広くしろ(6畳2間)
65	2年で帰村にされた者ですが、廻りに仮置き場予定、又、目の前に仮置き場有り、線量3~7、雨樋49~、雨の時は111、廻りは山林こんな場所を除染して2年で帰村と言う行政の考えがわからない。もっと地域を区切った方向を示して欲しい。今の状態では絶対に帰れません。
65	早く除染してほしい
65	飯館ホームに勤務し（15年）、避難先からの通勤（35KM1時間）はとても疲れてしまい、65歳になり退職しましたが、以前は自宅から歩いて3分なのでもっと仕事をしたかった。ずっと美しい村で生活したかった。
66	小部屋一つの生活で息がつまりそうです。仕事もなくなり毎日新聞とテレビが友の生活。いつまで続くこの生活、話しもしない生活で声が出ません。
66	自然での山菜野菜が全く信じられない状態で夢がまったくありません。そんな中で前向きに生きる

	のがとてもつらいです。負けはしませんが。
66	前は毎日働いていた。体を動かしていたのに今は働かないので、足、腰が弱くなってきた。
66	避難してきてから身体が痛くて仕事に付けない病院に行っても治らない。
66	宇宙へいく現在、原発事故が未然に防ぐ用全世界で発明してもらいたい。事故が起きた場合は放射能が出なく言えるような装置など。
66	全村避難23年5月31日に村を出たので全村避難。全村帰村を望みます。線引きはだめ、だめ。
67	夫が家の中にいる事が多く（テレビを見ている）人との接する事がほとんどない。高齢で認知症、うつ病等にならないか不安です。自分もなかなか人と深く付き合うことが出来ない。前に知り合いは遠くはなれているので会う機会がなくなってしまう。
68	仮設住宅から自宅へ置いた猫のエサを与えに帰宅すること、週2回、片道20kmの冬期間が一番つらい。早く一日も・・・自宅へ戻れることを希望したい。
68	仮設に入っています。狭くてストレスになる。高い声で話しをしたり、テレビも気を遣って見ている有様。集会所で行っている行事には出来る限り参加しています。家より物を持って来て置くところがない。家にある物も家の中も段々駄目になってしまいそうです。
69	早く家に帰りたい
69	家族がばらばらいつになったら若い人達と一緒にくらせるか毎日一人で生活をしています。
69	部屋の狭さ、隣の気づかい。とにかくはっきりした避難生活の年月を出してほしい。口からのでまかせばかりで避難者を馬鹿にしないこと、東電職員は自分達ももっと給料を下げ、国にばかり押しつけないでしっかりしなさい。大臣達も避難場所に来る時は普通の格好でこい。しかし恐ろしいほどガードしている姿を見ると腹が立つ。
70	何十年も生活して来たふるさとをはなれ何もかもだめになった。こつこつと積みかさねてきたものが何もなくなった。この気持ちはどこにぶつけたらいいのかわかりに悲しんでいます。
70	村の行事があっても車の運転をしないため移動が難しい。
70	はやく家にかえりたい
70	仮設で生活していると、きゅうくつで心配ことが多すぎる。自由がすくなくいです。
70	除染をやるのはいいけどやるだけ無駄な金です。それよりチェルノブイリだの放射能だのがおちいているのに、そこにいられるわけないでしょう。村長はいるのならいいでしょう。それよりも一戸にたいして一億円づつ出してもらって飯館から出してもらったほうが身のためだと思います。だれももどって行く人はいませんよ。東電でやるか国でやるかはわからないが早くに自分の家とした所で死んでいきたいです。年もとっているのをお願いします。一人10万円ではとても苦しいです。全部買いたてでほんとうに今までのような生活はできません。水からもって金です。どうかよろしくお願いします。言いたい事はまだまだあるがやめます。
70	いちばん困っている事は第1にアパートはせまく、車イス生活で立つ事も出来ない障害者です。一級です。役場より度々寄ってもらってもディーサービスにも行けず、風呂も主人にシャワーで洗ってもらう。ごはんの用意もみんな主人です。一日も早く元の空気にもどして下さい。お世話になります。
70	困った事：家族がバラバラ暮らしている事ですが、子供のため、仕方ないと思っています。放射能除染終るまではお願いします。
71	建物が古いので冬になると部屋が寒くてこまります。燃料ばかりかかります。
71	除染の出来る限り早くしてもらい、元の生活に戻りたい。
71	仲間に囲まれての生活が一変してアパート住居、この年齢（71才）では帰村は無理です。一日も早く財産etcの補償金を戴き、気の合う人同志でおだやかな人生を終えたいものと思っています。ストレス多大で病院通いが多くなりました。
71	仮設生活は何となく落ち着かない。家にいた時の方がずっと良かった。帰村しても田畑も作れない。生きる道をとざされた今、何をどう生きればいいのかわからない、くやしいです。もちろん、そのつぐないはしてほしいです。
71	放射能こんなに広範囲に拡散させてしまってもっと早めに処理をすることは出来なかったのか残念

	です。
71	一番はみんなが元の生活にもどれること。でもそれはぜったい不可能だと思うから消極的になってくる。
72	先の見えぬ生涯、周りに知人がいない、ゆっくりと休める場所がない。頑張っていく張りが無い。
72	子どもや孫が帰って来ても、仮設ではとめられませんので困っています。
72	毎日の生活している所せまくてこまっている。
72	近くに集まる場所がない
72	私達は年齢なので後何年で死があるのかわからないので後2～3年後、帰ると言っているが、この先わからないので、こうしてこの後死んで行くのだろうと思っています。
72	まず土地や家を買える賠償をせよ。
72	避難してから借り上げ住宅のため、知り合いが近くにいないため、話し相手がいないので孤立して体が変わってしまった。
73	役場に以下泣けれ`はならない用が出来た時に遠いので大変な事。
73	村民にとっても最も大切なこと：放射線量のことを知らせなかったこと、国から県外への避難命令が出ていたことも知らせてくれなかった。告訴された福大教授（松下）と高村かおるともう一人、こんな人達の話しを聞かされ、ニコニコしていた村長、そのために避難が遅くなってしまったこと、全くどうかしていると思う。癒しの湯にいくと殆どの人達が不満を持っています。村の人達にもっと声を出して、村長に対して意見を言って欲しいです。除染に使ったお金をオレたちにくれといっている人達もかなりいます。若い人達が多分村に戻らないと思います。「負けねど」の人達にもっと力強く頑張っ`てほしかったです。もう村はダメになっていくばかりです。残念でなりません。糸長先生によろしくお伝えくださいネ。
73	①いつ帰村出来るか・・・家のまわり田畑の除染、森林の徹底した除染がなければ安心して帰る事ができない。②孫子とは一緒に暮らしたいが30～40年はむりだと思う。・・・かなしいです。③①、②が解決しないうちは国に賠償してもらいたいです。年寄りだけでは生活出来ません。
73	村は除染して戻すと言っていますが、早く賠償補償土地建物をしてもらわないと、解除されたら何もかも、打ち切りにされるでしょうか？まったく村長は浅く、双葉郡の村長はずるいからみろやる事が頭のいいこと飯館村はまじめに受け止めてどうする馬鹿村長、アホ。
73	何もしないで生きることはよくない
73	仕事がなく家の中で暮らす日が多いので体も心もだめになるのが目に見えています。
73	生活の中での村の中でのお金のムダづかい。
74	現在のままで満足していますが、高齢者にも帰村についてわかりやすく説明してほしい。
74	とくに有りませんが、ともに年齢も70歳も後半の年齢なので将来の事はどうなるか、考えられません。
74	同居していた孫のことが一番心配です。孫の学校の問題が気がかりです。
74	仕事のできる人は何でも手伝うつもりで率先して働くようにしてもらおうような気持ちでは、復興は遅れると思います。
74	高齢者になって体が健康でなく原発被害と重なって病院通いの日々を送っています。色々な所に行`って見たいのですが、気管支炎ぜんそく。腰と膝がへって整形に手術の段階の体です。
74	生活にしろ交際にしろ役場にしろ農協にしろ不便だし、親戚にしろ遠く早く自分家に帰りたと思わぬ日はありません。
74	マンション生活なので交流の場がない（友達）。支援の輪が少ない。
74	同じ避難なのに仮設にはいろいろ集会所がありならい物や体育したり、買い物につれていってもらえたり、物資などもあり借り上げはただしらない人達の中で、毎日寂しい思いでいます。なんとか国でも考えてもらいたい。
74	住宅が湿気で床が痛んで困っています。自宅の中はネズミに、フスマ、ドアなどかじられて荒らされています。
74	3月11日以前の環境に戻りして下さい。

74	一人暮らしで部屋が狭く、見苦しく感じております。一人住まいでもう一部屋欲しいです。病気になっても寝ていられないからです。寝るところ、食事するところ、客人が来て休む所も一緒だからです。
74	村に犬猫を残して来たので、一日おきに村に餌やりに通っている。交通費、えさ代が大変で困っています。
75	大家さん（82歳）や大家さんの友達グループに私も誘って頂いて、2泊3日の温泉旅行や買い物等、10月28日には4人で川俣町の絹市へ、また、時々ヘルシーランドへ、日帰り温泉にも4人で行ってきました。楽しかったです。
75	75才毎日夫を医者で自分の病院の毎日忙しいです。
75	どっか住む所がせまくてストレスがたまります。ねむれない事もあります。どうか早く一戸建てが欲しいです。どうかよろしくお願いします。
75	除染を進めてほしい。
75	借り上げにしているが、近所のゴミが自分の前におかず、人前に置くゴミ、プロパンガスの前に大量にある。ペットボトル、毛布、箱、まだたくさん、乗れない自転車。他にゴミの玄関はないと思うが。一度見て下さい。誰にも話す事ができず頭が痛い。
76	月10万円の生活費では不可能です。生活できません。
76	村の避難さわぎのドサクサの時に息子が結婚し孫も生まれ村外で子育てしています。単身で仮設生活をして居りますが（終の住みか）はどこになるだろうか？不安をいただいておりますが・・・村に帰っても高齢者の対応がどうなるものやらと・・・80才に手をのばせば届く年となり老いさせられます。安全で安心して住める場所が欲しい。
76	除染を早急に完了すること
76	村ではが村民の声を聞き入れず今回の帰村宣言等は一方的だと言っている。被害者、加害者をはっきりの対応をして欲しい。
76	震災時夫（81才）が南相馬市の病院に入院中で10日後に群馬県に搬送していただき今も入院中です。見通しがつかず、いつ福島県に戻れるか分かりませんが、住む所も今のところ心配せず病院の方々にも良くして頂き有難く思っています。
77	親子がケンカしやすくなった。それもストレスの関係で。
77	住居が長屋で物音、さわぐ声でびくびくしている。静かな飯舘村の生活がしたい。自分で設計し望みの家、まだ19年長生き出来る静かな場所、カセット住宅は小さな声であまり笑みもない、さびしいです。若い人たちは町の生活になじんでいるようです。
77	福島市内に持ち家があったので、この家に避難中ですが、建物が50年くらいたっているもので、壁はひび割れ、二階の窓は動かない。屋根は雨漏り、26万円かけて修理しました。色々いたんでいるのであれもこれも、3:11の時はえんで、古い家がさらにこわした家になり、先に立つものがなくて困っているわけです。リフォームとか、建て直すか、お金がなくて・・・
77	いままでこんなこわい事は初めての事ですので国がせっきょく的に対応して村民に安心安全の生活できるかんきょう作りが大切な事だと思うので団結力がなさすぎます。逆の立場を尊重していただきたいです。人間の命にかかわる事なのでトップの国のせきにんになります。みんなの伝記のためにフクシマがぎせいですので本当にくやしいです。乱筆乱文にて失礼します。まだまだ書くことがありますがこの辺で。
77	燃料費がかかる。たとえば石油、ガソリン。
77	主人が認知症になって困っている。時々徘徊する。
78	毎日自分体がうごきがわるい足がすすまない。
78	国と村ではやく話しをすすめてほしいんです。
78	除染にかかる費用を、村民一人あたりの賠償にまわせば子どものいる若い世帯は、次の生活基盤が早くたてられると思う。それから除染でも遅くないと思う。10年、20年では前の飯舘村には戻れないから。
78	避難してみて今までの村の生活がすばらしかった事を痛感しています。国で私達のような事が二度と起きないように注意してほしい。

78	仮設住宅が狭すぎる。広い戸建ての住宅に住みたい。
79	国により、住宅・土地の借り上げ
79	早く帰りたい。我が故郷に伸び伸びして星空を見たい。一日も早く飯舘村よ待ってくれ。
79	早い除染でいねいな除染をお願いします。賠償金の早めの支払いをお願いします。何時もおくれています。
79	妻の身体が災害とき・・・ならないのでしょうか。3月12日の時点ではなんでも自分でやりましたので残念でなりません。須賀川のゆう・・・館に入所しています。村当局の対応がなっとくできません。
79	体が弱ってしまった事
79	以前のきれいな村にして、そしたら若い人達も帰って来られるし、あそびに来られる。早く除染を進めてもらいたいです。
79	認知症の為、親子一緒に世話を頂きたい
79	早く帰りたい
80	現在仮設は9坪です。せめて12坪は欲しいです。
80	村長さんは今まではあまり自宅に行かないようにと話していましたが、今度は解除前倒しということになった。我が家に行って窓を開けたり、風を入れたりしなさいと言われた。車がないので、人をたのむのには都合があり中々行くことができないので公用バスでも飯舘地区、草野地区に出してほしいと思っている。私達は何やかんや言うことはできないと思うので是非伝えて欲しい。わが家にも・・・彼岸にいったまま。あの日は窓をあけるような天気でなかったのに開けることもできず、家の中はぼろぼろだと思う。アンケートになるかならないかわからないが、一生懸命書いたので宜しく。アンケートは何べん出したか？
80	除染をしないうちから帰村宣言はしてほしくなかった。放射能は目にみえないから言葉では何とでも言えるし、・・・避難先の町長さん、村長さんと飯舘村も話し合いをしてもっと村民によりそったかたちで帰村時期決めてほしい。少し早く進めすぎます。早ければよいという事では無いでしょうか？
80	帰村したとしても、荒れた農地をまえのように戻せないと思いますし、その体力もありません。井戸水も心配です。
80	避難してから近所の人達とあうことが少ないので寂しい。国、村でははっきりとこれからの事を決めて居住について安心できるよう努力して欲しい。
81	現在は特に不自由はしておりませんがやはり帰村の事を考えております。長男は福島市内の借り上げ住宅に住んでおりますので時々帰っていますが村に帰るには全てのライフラインが整わないと帰れないと思います。
81	家族と暮らしたい。・・・寂しくて死にたい。80歳ばばー
81	心が落ちつく場所がほしい。
81	狭い空間での生活で足腰が弱くなってきている。隣近所でのコミュニティもままならず、日々ボーとすごす事が多い。避難前なら家の事、家庭で作っている野菜等の収穫等の楽しみがあったが、今は、楽しみがない。運動する機会も減ってきている。高齢の為、この先が不安だ。
81	避難生活は全く困る事ばかりで、一日も除染して下さる様をお願いします。村でも農業が一番安定しているので放射能を一日も早く追放して下さい。お願いは放射能の追放だけです。
82	元の飯舘村に戻して欲しい。
82	避難者全員にもれなく情報を流してほしい
82	国ではこんなことはあってはこまる
82	山、田、畑、除染して下さい。
82	もう年なので早く家に帰って死を迎えたい心境です。
82	代筆：山へ行くのが生きがだった事が、この原発事故により、それが出来なくなり、毎日、辛い思いをしている。きのこや山菜を採る事もそれらを人にあげる事も出来ない事が残念だ。
82	国、村は早期帰村をと言っていますが、若い人達、頼れる人達の居ない所へは、帰村できません。

	帰れない人達への補償を考えてほしい。
83	村長の声が聞こえない
83	一度失った信用を取り戻すのは不可能であり、風評被害について国は損害賠償を続けて行くべき。
83	避難先では話し合う相手がないので寂しいです。孫達とも離れて、たまに会いに来てくれることが楽しみのようです。
83	かぞくバラバラでおばあちゃんは一人でしせつです。おじいちゃんは原発のせいで亡くなりましたが、一生懸命仕事しているのにさ・・・いかりでしかたがありません。
83	夢も希望も諦め自分の健康管理に努め帰村出来る日を待つのみ
83	飯館の家の様子を見に行くと、家の中がジメジメして、臭い部屋の中に入ると、気分が落ち込み、ため息ばかりが出ます。外は草が生え茂り母屋が隠れています。でもペットがいるので毎週通うのが現状です。ペットが何も言わないけど待っているんですけど、
83	アパートがせまい
84	84歳です。先が長いとは思っていません。生活再建が最も早くやるべきでそのためには、お金が必要です。土地の買い上げ、農業機械の賠償等で一刻も早く自分たちの家に住みたいと思っています。
84	村民の命を助けて下さい。なぜ2ヶ月～3ヶ月放置されたたのか？
84	とにかく本人は家に帰りたい。今は一人で（84歳）が借り上げ住宅に住んで、なにからなにまで一人でやっています。年数ではこれからどうなるか自分では帰るのでがんばらなければと生活しています。飯館からは（役場などのからはだれも来ません。顔を出してほしい。）仮設住宅には手厚い様ですが、（代筆）
84	原発事故の事等、世間ではもう忘れられていると思います。風評被害もまだまだです。もう過去の事で・・・片付けさせられているのがくやしい。
85	避難先が子どものところなので、いろいろめんどろをみてもらっているので問題にするところはない。月2回以上は自宅にいていたが、家に入れる状態でない。
85	早く戻りたい
85	私は高れいのため帰村は不可能。村へは二度と帰る事はなく死んでしまいます。昔の苦労を思い出すたびかなしくなります。
85	安心できる生活、補償。
86	高齢であり、体は動かなくなる一方ですから不安だらけです。
86	村民の意見も聞かず解除の見通しを決めたのは許せない。区域を三つに分けたのが意味がない。そんなに急いで除染が丁寧にできるのか。もっと時間がかかっても仕方ないのですみずみまで丁寧にやって頂きたい。
86	早急な除染の完全実施
87	国、県、村、信用出来ない。
87	高齢者であること・・・何よりの苦悩です。
87	地理がわからないので外出できない。若い人達が早く再出発できるように国や東電が家や農地を用意し、事故前の生活程度ができるようにしてほしい。私達老人も安心して次世代を見守りたい。
88	たまには家に帰りたいが遠いのと生活が出来ない状態だから自分の家であっても自分の家じゃないみたいところが悲しい。
88	このまま息子の所で世話になって余生を送って行きたいが、村の事は忘れていないので、このまま広報情報を送って下さい。
88	早く除染して下さい。
88	なにもきぼうがない。村の老人ホームに入れてほしい。
90	ひなんのためホーム入所になった事がショックでなりません。
90	除染も一家ごと、ちがうのでうまくいかないと思う。うちは回りが山なので、それに家も60年もたっています。少しいたんでいます。これをどうできるのか。
92	部屋が狭くて困っている。

93	借り上げ住宅では落ち着かない。資産を買い上げてもらって避難先のどこかに家を建てておちつきたい。孫達の事を考えると村内には戻れないと思う。
95	早く家に戻りたい。ここでは死にたくない。
98	ひ孫の健康や将来の保障の問題などどう対応していくのか、原発事故をどのように考えているのか。国の対応はあますぎる。自分が住んでいる町や村でおきた場合、平気でいられますか。交通事故あつかいで満足しますか。自分のことのように考えてほしい。それがダメなら、福島じゃなく東京のど真ん中か国会の近くにもって行ってほしいとせつに思います。
—	すべてあきらめております。思うことは自分の健康かんりだけよ。
—	飯舘村をもとにもどして生活できるようにしてほしい。子どもだって大人になってから飯舘はいいところだといえるように。
—	借り上げアパートが古くて別なアパート借りたいがまわりが気になる。まだ、前のアパートのフロ直してもらいたい。
—	村長が再選し、色々とマスコミに出ているが、勘違いしないでもらいたいのは、村長を選んだのではなく、誰も他に立候補する人がいなかっただけの話。口ばかり、村民の気持ちを尊重、尊重と言っているのが、彼のワンマンで帰村、帰村と進めようとしている。まず、原発が終息してから考えるべき。どんどん村長と村民の考えがズレていって、村民はそれが一番の不安とストレスである。
—	毎日の仕事や学校の通勤通学時間
—	こんな生活思いもしなかった。国、電力会社、元の生活にもどして下さい。
—	避難？とは家を捨てることになるなんて考えられなかった。遅くとも3月中放射能について何をしてもどこに気をつけたらいいのか、国も東電も村ね何一つとして話はない。23年の水田の草刈り身支度についても何もない。だがどうです役場の時は、自宅の人はどうでもいいが、国の人は大切ですが、となれば村人5000人いてもいなくても良いといっていると同じではないか。口で言うよりいや言ってる……今頃になってこんなアンケートして何をしているんですか。アンケート用紙にも書いたけれどこまよなことは、三月末、もしくは、6月頃までにちゃんとして、放射能について何の説明もなくただ逃げろの避難ではなかったか。私は、先がない人間なので明日より今日中にちゃんと元の生活が出来るようしてほしい。ムリは判っている。その点、東電だってムリは知りながら作ってんでしょ。そして金もうけ、赤字になれば値上げをする。子供の頃、大きな会社の方が良いとおもっていたが、今老いると大会社ぐらい、金もうけのやり方はないでしょう。①国は昭和30年前後に日本の山を緑にするには50年100年かかるといそいでぐんぐん植林しました。50年後の今日、その木は大きく育っているかいらないか。雪折れです。残った木は、根無し状態、売り物にならないといえます。当時の人は今いないですから東電だって同じ。②40年中ばかりは、水田を30アールにと大工事をはじめました。村から離れた山間地も山をブルでして水田どんと作りました。そして、家では、200万の借金をして42年一年作ったら43年は減反、米余るから、それが国のやるコトは、皆さんも判るでしょう。こんなばかげた事やるのが人の世の中でしょうか。東電は最悪ではないかい。そして、今頃になって村にもどらず、他へうつるべきか。0をとは何を意味してるのですか。すべてのアンケートにもどるかもどらないかと表現しないでほしい。村に帰るか、帰らないかではないか。好きこのんで無二を出たのなら別ですが、それを人ごとと思っておいでですか。聞くところでは、村にもどっても稲作れるか分からない。作りながら調べるとは何事ですか。自分のことだったら怒りを感じませんか。私は原発ニュース耳にして依頼一時とて安心してねむれず体調くずしてしまっています。医者はストレスからくる病といいますが、意味が分かりません。

◆性別不明

年齢	記載内容
56	家がネズミ被害で柱などがかじられていること。2年～3年で帰村ができるのかどうか。帰村をしてから避難前の生活ができるかどうか。生活支援などがあるかどうか。
78	部屋が狭くて困る。
—	補償賠償支援等大変助かりありがたく思っています。ただ、そういうものに頼りすぎる生活はよくないと思います。再就職してもある程度補償されてしまうと、働く意欲がなくなってしまうのではないかと思ひ、必至で働いている人との差が出てくるのではないかと思ひます。ある程度の自立が必要ではないでしょうか。健康診断等、土日受診もできたらいいなあと思ひます。
—	村民の意見を聞かず、かつてな報道、方向性にストレスをためこむ事が多い。自分自身が変になりそう。
—	何故避難解除を国に提出したか分かりません。村長、村議員の意見だけでその他の若い村民はどうするのでしょうか？村に何があるのでしょうか、戻って何も出来なく満足なのでしょうか？あまりにも老人はこだわりすぎではないでしょうか？なくなればいいんです村なんて、近所つきあいもなくて今はこの生活が私は好きです。村長はあまりにもいい顔しすぎです。もっと考えるべきです。
—	飯舘村が原発被害に遭うとは誰も予想していなかったことだ。古今希な災害に対処し復興するには容易ならざるものであろう。東京電力と政府は画期的な政策を打ち出して対応すべきだ
—	とにかく何かと出費が多くなった。飯舘の自宅はオール電化でしたが、今は、灯油とガスと光熱費もかかり、何かと不便である。
—	復興予算の使い方、関連性がないと思われる事業へ使っている。シーシェパード対策や沖縄の道路整備などに使われているのは考え方が解らない。除染も無計画で、どうしようもできないことことをできると言っているようにしか思えない。根拠がない。村も対応が遅い。帰れないことはわかっているのだから、村外に宅地分譲など計画して実行してほしい。一年以上避難生活しているのは避難とは言わないのではないか。
—	村の情報不足が一番
—	読むだけでつかれましたので終わりです。
—	町の便利さと田舎の不便さが出てきているせいか、忘れ去られる前に新たな村を造ってください。
—	国や東電の責任で原発被害にあっています。双葉郡は住民のことを考え、健康や賠償に取り組んでいます。私は帰村だけを言って住民を安心させる対応をしているのが疑問です。線量(除染後)の〇〇ミリシーベルト以下と明確に示してほしいです。(目標ではなく)それまで帰村しない。安易な帰村宣言はしてほしくありません。よろしくお祈りします。
—	一日もはやく除染をしてほしい。
—	元の家が心配です。
—	除染の進行
—	3月11日前近くの放射能の考えることのない生活が出来ればと思う。残り少ない人生、家へ帰ってやさい作りするのも時間の問題だけです。
—	避難生活が長いので村に対する事がなかなかむずかしい。
—	両親とは離れて生活することになり、子どもの世話を代わってもらえないこと。
—	主人が寝たりの体でこまっています。
—	村に帰っても家、土地があれていて、生活が不安でならない。
—	住みなれた家と村をはなれ、狭い家で生活です。早く村に帰りたいです。土地が駄目になってしまった事を悔しいです。もとどおりに直して下さい。私らはもうこの世にはいなくなる、でも心配です。
—	先の見えない不安、何年か先の健康被害、避難先で長期化するほど生活や学校が慣れていくのに、

	安全が確立されない帰村宣言、家賃の発生。
－	賃貸住宅のため自治会も何もないのが不満です。近所に集まる所がないのが困る。
－	3～6年で避難解除と言うが村の大半は井戸水や山の引水を使用しているのに・・・解除されても水が飲めないので生活出来ない・3年～6年で水も除染できるのか？？避難生活は最悪、ストレスで病気ばかり、死にたくなる。
－	大きな病気をしてから、精神的に立ち直るために小さな畑をかりて、野菜を作り始め、毎日楽しく、又、自然な山を歩き、心も体もリラックス出来ていた。そんな元の状態になればいいなと思っています。「どこでも出来るだろう・・・」と言われてたら何も言えない。しかし、これは本人でなければわからないと思います。
－	国や村には何も期待しない。国や県村は飯館に無理に帰そうとしている。
－	家の回り20m四方除染しても戻れないのではないかと。そこに戻れと言うのは困る。帰れる形が出来てから帰る時期を決めるべきである。村民と話しをして決めたのではないので、責任をとってもらいたい。
－	仮の家なので毎日が気をつかってつかれる。生活費が大変だ。
－	福島は数値が高い。避難生活できる人、したくても出来ない人がいる。皆放射能を気にしながら生活してます。その人達にも何か補償があってもいいのではないのでしょうか。
－	部屋がせまく、プライバシー時間がない
－	全部が困ってます。通勤距離は長く、家族はバラバラ、身体的にも疲れてます。子供の精神もボロボロです。